ライオン誌11月号2008年(平成20年)10月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第51巻第5号

THE Lion

LIONS INTERNATIONAL
IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International
11
第51巻
第5号
November 2008

THEME 日本の食を考えるI

今そこにある危機。
飽食ニッポンの深刻な食糧事情

ライオンズの未来を信じる五つの理由

ライオンズは奉仕を通じて、明るい未来をつくるために手を貸すことが出来ます。私たちはまた、ライオンズの未来も明るいものだと信じることが出来ます。この楽観的な認識を生む理由のいくつかを、ここで説明してみましょう。

- 視力ファーストは、ライオンズが資源、労力、技能を分かち合った時、どれほどの偉業が成し遂げられるかを立証しています。私たちは視力ファーストを通して、3千万人の人々を失明から救ってきました。建設または拡張した眼科病院・診療所・病棟は300件、白内障手術の施術数は730万件、訓練を提供した眼科医療専門家は345,000人に達しています。そして視力ファーストIIキャンペーン（CSFII）によって、更に何百万人もの視力が守られることになります。
- CSFIIがもたらしたもう一つの恩恵は、私たち自身が、共通の目的に向けて結束する方法を学んだことです。今、私たちはここで培った力をグローバル会員増強チーム（GMT）に向けています。私は41人のGMTリーダーを任命しました。任期は少なくとも3年です。CSFIIの経験からも明らかなように、極めて野心的な目標を達成させるには継続性が必要です。GMTではすべてを一から始めるのではなく、既に会員増強に取り組んでいるMERLチーム、協議会議長、その他のあらゆる人々との協力によって進められます。これによりクラブには入会希望者が続々と押し寄せるでしょう。私たちは期待に胸を躍らせています！
- イギリスの経済紙『フィナンシャル・タイムズ』は2007年、LCIFを世界最高のNGOと格付けしました。私は入会以来、ライオンズは世界で最も偉大な奉仕組織であると考えてきました。今、実に喜ばしいことに、世界中の人々がライオンズに注目し、正当に評価し始めています。第1位という評価は、他者に入会を勧める根拠になります。私たちは誇りを持って、ライオンズに参加することの意義を人々に呼び掛けようではありませんか。
- 人々はライオンズに魅力を感じ、自分も加わりたいと願っています。アメリカの慈善家ケネス・ベーリング氏と彼が出資する国際健康教育財団は、CSFIIに750万ドルの献金を行いました。これは、ライオンズが人々にとって大変重要な存在であり、支持を集めている証拠です。
- ライオンズ会員でもあるジミー・カーター元アメリカ大統領は、国際協会をノーベル平和賞に推薦しました。我々の奉仕の重要性が認められたすばらしい出来事です。私たち一人ひとりが実現する奉仕の奇跡が、地域社会と国際社会に対する目覚ましい貢献へとつながっていくのです。

ライオンズはこれまでに多くの偉業を成し遂げてきました。時の流れと共に、その奉仕はますます強化されていくに違いありません。

Al Brandel

2008-09年度国際会長
アルバート・F・ブランデル

THE LION MAGAZINE IN JAPAN
November 2008, Vol.51 No.5

We Serve CONTENTS

2008年11月号　表紙
福島県梁川町
あんぽ柿
■詳細はウェブマガジンで
https://www.thelion-mag.jp

THEME 日本の食を考えるⅠ ～食の危機

今そこにある危機。
飽食ニッポンの深刻な食糧事情

世界の穀物市場では2007年以降、需給ひっ迫傾向が強まり価格が高騰している。世界的な食糧増産にもかかわらず、基調として消費に生産が追いつかず、毎年、世界の穀物在庫が取り崩されていることが背景にある。前年比3倍、4倍という価格の上昇は、これまでの周期的変動ではなく、「均衡点」の変化である可能性が高い。日本は耕作放棄や生産調整を行っている場合ではない。過剰を前提にしてきた日本農政を抜本的に転換し、食料自給率の引き上げを図るべきである。

ひっ迫傾向をたどる世界の穀物需給

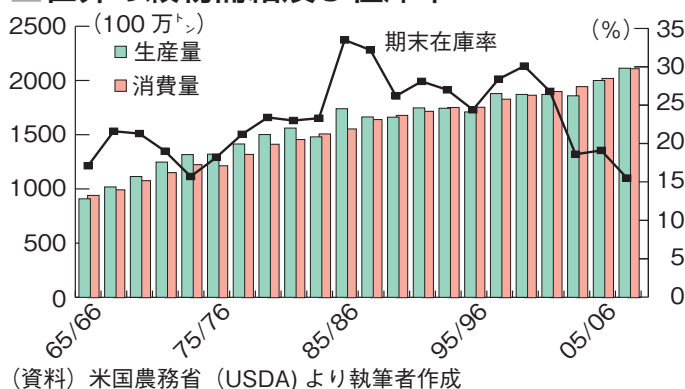
アメリカ農務省（USDA）需給報告（08年7月）によると、07／08年度（おおむね07年後半から08年前半を指す）の世界の穀物の期末在庫率（期末在庫量／消費量）は15・3％と、00年の30％台から急低下し、世界的な食糧危機が生じた70年代初めのレベルに落ち込み、08／09年度も16・1％にとどまる見通しだ（図1）。

これを映し、シカゴ穀物市場では、過去30数年にわたり1ブッシェル（約27・2キロ）3ドル前後で推移していた小麦が、08年2月に一時13ドルを突破し過去最高を記録したのに続き、3月には大豆が15ドル台を付け、73年の史上最高値12・9ドルを34年ぶりに更新した。トウモロコシも6月に7ドル台に達するなど、ここ数年で価格は3倍になった。

食糧需給ひっ迫の背後には、中国やインドなど新興国の旺盛な消費に対し生産が追いつかず、世界の穀物在庫が取り崩されているという構図がある。

■世界の穀物需給及び在庫率（図-1）

(100万トン) (%)
生産量
消費量
期末在庫率
2500 2000 1500 1000 500 0
35 30 25 20 15 10 5 0
65/66 75/76 85/86 95/96 05/06

（資料）米国農務省（USDA）より執筆者作成

人口8億弱の先進国が世界経済をけん引していた90年代までは、成熟化した先進国のために成長をしても新たな資源の需要には直結しなかった。資源価格が上昇するのは、戦争や干ばつなど一時的な供給障害が生じた時で、それが解消されればたちまち価格は下がった。これに対し、00年代に入ってからは、中国やインドなどの人口超大国が持続的高成長過程に入ったことにより、毎年、新たな資源需要が喚起され、それらの累積的効果が需給ひっ迫となって市場に顕在化するようになった。

ちなみにUSDAによると、07／08

食料自給率

自給率向上に向け あらゆる手段を 尽くせ

柴田明夫（丸紅経済研究所所長）

76年東京大学農学部卒業後、丸紅に入社。鉄鋼第一本部、調査部を経て、丸紅経済研究所所属。チーム長。主席研究員を務め、06年から現職。農林水産省食料･農業･農村政策審議会、国際食料問題研究会、資源経済委員会等委員。近著に『資源インフレ』（日経新聞社）、『食糧争奪』（日経新聞出版社）、『水戦争』（角川SSC新書）など。

年度の世界のトウモロコシ需要量は、７億７５００万トンで04／05年度の６億８８９０万トンから６６００万トン増加している。この約３分の１が中国とインドだ。中国のトウモロコシ生産は１億５１００万トンでアメリカの３億３２００万トンに次ぐ世界第２位であるが、近年国内需要が急増し、00年に約１５００万トンあった輸出量は、07年には50万トンに減少。近く純輸入国に転ずる公算が大きい。世界の大豆貿易量は現在約７７００万トンであるが、この内の３６００万トンが中国である。この背景にあるのが、所得向上に伴う食肉需要の急増だ。90年に約１億５千万トンであった世界の食肉需要は、07年には約２億５千万トンまで１億トン増加しているが、このほとんどが新興国での需要増加で、中国だけで５千万トン増えている。１キロの食肉を生産するのに牛肉で11キロ、豚肉で７キロの飼料が必要になる。

この意味では、現在は少なくとも中国が先進国に至るまでの「過渡期」の現象と言えよう。通常、過渡期と言えば２～３年、長くても５年程度の話であるが、人口13億人の過渡期であるから、その期間も10年や15年では済みそうもない。この間、エネルギーや食料を始めとする世界の資源市場では需要サイドからの価格押し上げ圧力が加わ

り続けるのである。穀物に限らない。原油や鉱物資源など、最近のあらゆる資源価格高騰に共通することは、「旺盛な消費拡大に供給が追い付けない」という、言わば、「需要ショック」とも称せるような現象が生じていると言えよう。

しかも現在は、70年代の石油危機や食糧危機騒動と違って、地球が「（安い）資源の枯渇問題」と「地球温暖化」という不可逆的な二つの危機に直面しているため、価格が高騰しても資源開発の余地が限られる。我々に出来ることは、一刻も早く省エネ・省資源・環境問題に取り組み、二つの危機が進む速度を可能な限り緩和させることしかない。

食糧需給ひっ迫に追い討ちをかけるバイオ燃料ブームと三つの「争奪戦」

食料品の値上がりは、09年も継続する可能性が高い。世界的な穀物需給のひっ迫が早急に緩和する見通しが薄いためだ。

09年、世界の食糧市場では、穀物を巡り三つの「争奪戦」が強まる可能性が強い。第1は、国家間の争奪戦である。特にトウモロコシ市場は、アメリカが世界生産の4割強、輸出の7割弱を占める「アメリカ一辺倒の穀物」であるが、エタノールなど国内市場の拡大により輸出余力を失う一方、中国が今年、トウモロコシの輸出を止めた。国内需給のひっ迫を映した格好だが、早晩、同国が輸入国に転じる前触れと言える。これまで年間約1600万トンのトウモロコシを恒常的にアメリカから輸入している日本は、今後、限られた貿易量を巡って中国との争奪戦に陥ることになる。

第2は、エネルギー市場と食糧市場との争奪戦である。急速に進む地球温暖化対策と原油価格の高騰を背景に、世界中でガソリン代替材としてクリーンなバイオ燃料の導入が始まった。アメリカのトウモロコシ・エタノールや大豆油を原料とするバイオディーゼルの導入を始め、ブラジルではサトウキビ・エタノールの生産が急増。ヨーロッパでは菜種油、東南アジアではパームオイルを原料とするバイオディーゼルの生産が拡大している。エタノール需要の拡大は原料トウモロコシ価格を高騰させ、直接、貧困層の飢えを拡大させかねない他、家畜の餌代に跳ね返り、最終的には食肉価格を押し上げる。

第3は、工業と農業の産業間での水と土地を巡る争奪戦である。現在、地球上の淡水の7割以上は食料を生産するために使われている。しかし、中国など新興国の工業化により、工業用水や生活用水の比率が高まる。

これまで食糧は、太陽の光と、水と土地があればいくらでも再生産可能な無限の資源と見られてきた。しかし今後は、原油や金属資源と同様に有限資源の性格を強める結果、輸出国は穀物を戦略物資として見なすようになろう。

食料品の値上げラッシュとひっ迫が続く09年の世界穀物市場

基礎食糧である穀物は、食品原料としての需要のすそ野が広いことから、価格の高騰は、日本の食市場を直撃することになる。例えば、大豆の約7割は油を絞りサラダ油、マーガリンなどに向けられる。高タンパクの絞りかすは大豆ミールとして家畜の飼料となる。食用では、みそ、しょうゆ、納豆、豆腐、豆乳などの原料だ。また、大豆油は塗料やインキの原料にも使われる他、最近では軽油代替燃料、バイオディーゼルの原料としても注目されるようになった。

小麦は、タンパク質の含有量によって強力粉、中力粉、薄力粉に分かれ、パン、中華めん、うどん、餃子の皮、菓子、カステラ、天ぷら粉などの原料となる。また、約20％の規格落ちの小麦は飼料用となり、トウモロコシと競合する。

トウモロコシの需要の約7割は家畜用の配合飼料原料であるが、コーンスターチ（トウモロコシでんぷん）は、異性化糖として清涼飲料水に使用される。更に製紙用コーティング（塗装）材や段ボールの接着剤、錠剤の原料など、工業分野でも幅広く使われる。アメリカではエタノールの原料としても需要が急増している。

なお、コメは食用がほとんどだが、一部、日本酒や煎餅などの原料となる。最近は原油価格の高騰に伴い、飼料用やバイオエタノールの原料としての研究も進んでいる。大豆、小麦、トウモロコシは、実にさまざまな食品の原料や家畜向け飼料、更には工業用原料にも使われている。

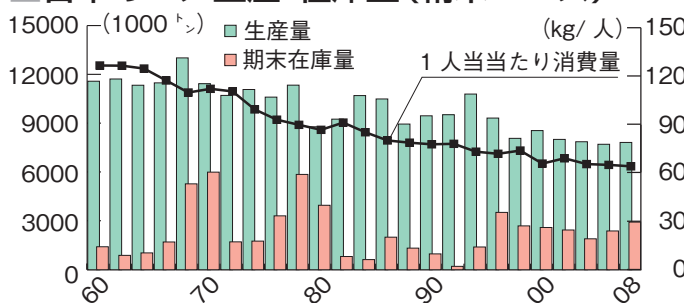
海外穀物価格の高騰は、既に食料品や飼料価格の値上げラッシュとなって日本の消費者や畜産農家を直撃している。07年にマヨネーズが17年ぶりに値上げされたのを始めに、08年8月現在までに食パン、缶ビール、即席めん、スパゲティ、輸入小麦、食用油、みそ、しょうゆ、冷凍食品、バター、チーズ、ハム・ソーセージなどが値上がり。更に外食チェーンのハンバーガーや牛丼

などでも値上げされている。物価の優等生と言われた卵や牛乳、そしてコメの価格も上がり始めた。09年も食料品価格の上昇圧力は続く公算が大きい。

過剰から不足を前提にした農政への転換を急げ

世界的な食糧需給がひっ迫傾向を強め、食料品の値上げラッシュが止まらぬにもかかわらず、農林水産省は依然として供給過剰を前提にした農政を行っている。かつて基幹作物として拡大再生産されていたコメ市場が、年々縮小しているためだ。ちなみに日本のコメ需要は、63年の1341万トンをピークに減少傾向をたどり、現在は900万トンを割り込んでいる（図2）。この対応として、農水省は過去一貫して生産調整を実施。現在、その面積は水田面積約250万ヘクタールの4割、約100万ヘクタールに及ぶ。日本のコメの生産力が1ヘクタール当たり5トン強であるから、500万トン以上を減産している計算だ。更に約40万ヘクタールの農地が耕作放棄され荒地と化している。水田農家の過半は70歳代と高齢化も極まり、後継者もいない。この一方で、日本は毎年3千万トン前後の穀物を恒常的に輸入している。この結果06年度の食料自給率（カロリーベース）は4割を下回ってしまった。

農林水産省は05年に「食料・農業・農村基本計画」を改訂し「経営所得安定対策等大綱」（以下、大綱）を打ち出した。そのポイントは、①経営感覚に優れた「担い手」（33～37万の家族農業経営及び2～4万の集落営農経営）に限定して直接支払い政策を行う、②「担い手」に農業生産の7～8割を集積する、③15年には食料自給率を45％に引き上げる、などだ。ちなみに直接支払い政策とは、従来のコメ、小麦、大豆、甜菜、馬鈴薯など個別品目の価格支持による支援ではなく、大規模経営体として育成すべき「担い手」に対して直接支払の形で支援していこうとするものだ。

■日本のコメ生産・在庫量（精米ベース）（図-2）

（注）1996年以降、期末在庫量は政府備蓄米100万トンと非食用のミニマムアクセス米の累積量の合計
（資料）米農務省需給報告データより執筆者作成

問題は、縮小均衡を前提とした農業政策では、肝心の「担い手」に闘志のわきようがないことだ。しかも、07年の参議院選挙での民主党の地滑り的勝利の主要因に、「すべての農家を対象とした支援策」が打ち出されたことから、「担い手」がやる気を失い「大綱」そのものが頓挫した格好だ。日本農業の将来に対する確固たるビジョンが描けないためである。

そもそも、縮小均衡下では「食料」「農業」「農村」という三つの目標そのものが並び立たない。「食料」とは、安全保障を考えた場合、多少コストが掛かっても国内増産をし、自給率を上げるべきだとの考えが根底にある。一方、「農業」は、市場が小さくなる中では、農業生産も経営規模の大きな農家に集中させるべきとの考えで「食料」とは相反する。更に「農村」となると、食料を生産することだけが機能ではなく、国土保全、水源の涵養、景観の維持など多面的な機能があるとの考え方で、これまた相いれない。

しかし、世界的な食糧需給のひっ迫を考慮した場合、我が国は、耕作放棄や生産調整を行っている場合ではない。いまや日本が「高い値段を払えば食糧はいくらでも市場で手に入る」時代は終わったと言えよう。08年に入って、WTO（国際貿易機関）で輸入を義務付けられたMA（ミニマムアクセス米）が手当て出来ない事態が生じている。それだけ世界的にコメのひっ迫が続いているためだ。もはや世界を頼りにすることは出来ない。

耕作放棄地や生産調整地での飼料用米の生産を始め、農業技術、環境対応、人材などあらゆる資源を総動員して、国内食糧生産の拡大均衡、食料自給率の向上を目指し、来る食糧危機に備える時が来ていると言えよう。過剰を前提にした農政から、不足を前提にした政策に180度切り替え、拡大再生産を目指すことによって「食料」「農業」「農村」はすべて整合性を持ってくる。

その際、食糧危機への対応は、決して閉じた国内農業のみの世界では解決しないことも事実である。中国を始めとするアジアを新たな輸出市場として広く視野に入れつつ、WTO協定に基づく多国間協議やFTA（自由貿易協定）などあらゆる組み合わせによる食糧の安定調達に向けた対応も急務であろう。「食料自給力」プラス「調達力」「輸出力」の強化に向けた農政転換を早急に図るべきである。

ストップ・ザ・食料廃棄

現在、日本では毎年約2千万トンの食料が廃棄されている。世界の食糧援助量が年間600万トンだから実に3倍以上になる。大量生産、大量消費の社会にあって、私たちは飽食の時代を享受しているが、止まるところを知らない食の大量廃棄は着実に地球環境をむしばんでいる。今、私たち一人ひとりに何が出来るのか。食料廃棄をめぐる現状をレポートする。

文／砂山幹博

「もったいない」だけでは済まない食料廃棄の実態

年間約２千万トンもの食品廃棄物がなぜ発生するのか。東京農業大学の上岡美保准教授にその実態を聞いた。

「食品廃棄物の内訳は、農林水産省・環境省試算（平成15年度）によると製造段階で出る動植物性の残さなどが３３９万トン。流通段階での売れ残りや廃棄、外食産業など消費段階での調理くず・食品廃棄や食べ残しが４９９万トン。最も多いのが家庭から出る食品廃棄物で１１３４万トン。つまり、全体の約６割が家庭から発生しています」

家庭での食べ残しで最も多いのが、「量が多すぎた」（図１）。他にもいくつか理由があるが、いずれも改善可能なものだ。一方、外食における食品廃棄の割合（図２）を見ると、食堂やレストランでは自分で注文するため３・１％と少ないが、結婚披露宴や宴会、宿泊施設での食事は、見栄えが良く、華やかであることが求められることもあってロスが多い。以前なら余った食べ物を折に詰めて持ち帰ることも出来たが、最近は食品衛生法が徹底されており、それも難しくなっている。

このまま食品廃棄が進むと、大きな

問題に発展すると上岡氏は指摘する。

「家庭から出る生ごみの多くは可燃ごみとして捨てられています。私たちが食べ残しをすればする程、処理の際のCO_2排出量が増加して、地球環境を汚すことになります」

食料品が輸入される際に飛行機や船が排出するCO_2の量も馬鹿にならない。農林水産省の計測結果によると、その量は1700万トンに及び、国内の食料品輸送の際に排出されるCO_2の約2倍に相当する。つまり我々の豊かな食生活は、地球環境に大きな負荷を与えることで成り立っているのである。

食品小売業界のメーンストリーム。食品残さの再生利用

次に、発生した食品廃棄物が資源としてどのように再利用されているかを見ていくと（図3）、家庭から出る食品廃棄物1134万トンのうち再生利用されているのは2・3％とごくわずか。残りの97％が焼却処分されている。流通や外食といった事業系では焼却埋立処理は75・8％と減り、残りは肥料や飼料として再生利用される。製造段階で排出される産業廃棄物に至っては焼却埋立が21・8％と更に減少し、8割弱の食品廃棄物が再生利用されている。

一般家庭と事業系でこうまで顕著に違いが出るのは、2001年に施工された食品リサイクル法の存在が大きい。これによりすべての食品関連業者は、06年度までに再生利用などの実施率を20％以上に向上させることが義務付けられた。そのため食品関連業者は、食品廃棄物の発生そのものを抑制する他、資源として再生利用または発生量を減らすといった方法を適切に選択し、単独あるいはこれらを組み合せることで目標達成を図ることとなった。ところが、食品小売業における再生利用の取り組みが低迷しているため、07年の改正法では、発生量の定期報告の義務化、リサイクル率向上など規制が更に強化された。食品小売業に限れば、従来の20％から12年度までに45％の達成に引き上げられている。このように法整備が強化される一方で、食品小売業界ではどんな対応をしているのか。コンビニエンスストアの例を取り上げてみる。

ファミリーマートでは、08年4月から東京都内の120店舗及び、おにぎり、弁当、サンドイッチなどの製造工場（3社7工場）から出た食品残さ

■家庭での食品ロスの発生理由（図-1）

理由	割合
料理の量が多かったため	72.8%
体調不良等何らかの理由で普段より食事の量が少ない人がいたため	10.2%
嫌いなものが含まれていたため	10.5%
家族の中に食事をとらなかった人がいたため	10.9%
味が良くなかったため	9.4%

■外食における食品ロス（図-2）

区分	割合
宿泊施設	13.0%
宴会	15.2%
結婚披露宴	22.5%
レストラン	3.1%

出典：農林水産省「平成18年度食品ロス統計調査(世帯調査)結果の概要」平成19年7月公表

■食品廃棄物排出量と食品循環資源としての利用（図-3）

資料：農林水産省・環境省試算（平成15年度）

を回収し、養豚業者を対象とした「リキッドフィーディング」による液体飼料化リサイクルの取り組みを始めた。リキッドフィーディングとは食品残さを活用した液状飼料を使った給餌システムで、食品残さを飼料化出来るため豚への給餌効率が高い上、飼料化工程上のエネルギー消費が少ないことが特徴だ。03年に子豚50頭に対して4カ月間の飼料化リサイクルの実験を行った結果、良好な結果が得られたことから実施へと踏み切った。ファミリーマートによると、開始から半年以上たった飼料化リサイクルへの取り組みは、順調に推移しているという。

「現状、食品ループに関しては、価格や店舗への商品供給の課題があり、リサイクル飼料によって育った豚の商品化は実現出来ていませんが、現在、弁当などの商品化を検討中です」

最大手のセブンイレブンでも、東京23区内の約千店舗から出る販売期限切れ商品の飼料化リサイクルを開始した。セブンイレブンでは03年から消費期限切れ商品を肥料として精製し、その肥料を用いたほうれん草を商品原料として供給している。今回、飼料と肥料に分けて精製することによって100%リサイクルに成功したという。

単にゴミとして廃棄処分するのではなく、再生出来るものは再生し、利用出来るものは加工して再利用しようという企業のこうした努力には頭が下がる。しかし、これらは発生した食品残さをリサイクルするものであり、食品廃棄物そのものを抑制するものではない。食品廃棄物そのものをなくす取り組みこそが今、求められている。

ファミリーマートのリキッドフィーディングによる飼料化リサイクルの取り組み

余剰食料を有効活用する「フードバンク」という試み

「フードバンク」と呼ばれる活動をご存じだろうか。品質に全く問題がないのに廃棄せざるを得ない食品を、メーカーや小売店から寄付してもらい、困っている人たちに無償で届けるというものである。受け取る方は食費の節約になり、食料を寄付した企業にとっても廃棄コストの削減となる。まさに食品廃棄物そのものをなくす取り組みと言える。

フードバンクは40年前にアメリカで始まった活動だが、この活動を日本に持ち込んだのが、NPO法人であるセカンドハーベストジャパン（2HJ）。「規模は小さいけれど日本には『お裾

フードバンクの活動

分け』という習慣があります。2HJの前身もまさにお裾分けのような形で、野宿生活を余儀なくされた方々に寄付米を配布することから始まりました。ただ、配る食料品がある時だけ行うという場当たり的な印象は否めませんでした。そこで現在、2HJではこのお裾分けを誰もが参加出来、かつ継続的に利用出来るシステムとして提供することを目指して活動しています」

と、2HJの秋元健二理事。2HJが扱うのは、さまざまな理由で市場流通ラインに乗ることの出来なかった食料品だ。具体的には、バーコードが傷などで読み取れないもの、箱がつぶれていたり破れているもの、印字が薄くて表示が読みにくくなったものや、生産余剰という形で製造段階で出てくる食料品である。これらはすべて2HJの活動の趣旨に賛同した食品メーカーから提供されるが、すべてを引き取るというわけではない。

企業からの連絡後、品質や種類、状態、保管方法、賞味期限の残り日数などを確かめ、どんな施設に渡せるかマッチングを行い、数量を決める。4年前には寄付企業が10社で、年間の扱い量も100トン未満であったが、今では定期で食料品を提供してくれる企業が60社に増え、不定期で提供してくれる企業を含めると300社を超す。扱い量では1千トンを超える見込みである。

意外かもしれないが、この飽食の日本国内において餓死者の数は決して少なくないという。そして約65万人もの人々が、安全で十分な栄養を含む食料を手に入れることがままならない。

「捨てる程の食べ物がある環境にあって、食べるに困るなんてあり得ないはずです。食べ物はちゃんとある。だけどさまざまな課題があって、その課題のせいで食べ物が届かない人たちがいるのです」（秋元理事）

2HJが食料を配給する先は児童養護施設や自立援助ホーム、母子支援施設、女性シェルター、移住民・難民支援施設、薬物依存症患者のリハビリ施設、グループホーム、授産施設など日本全国500の福祉施設に及ぶ。

2HJの活動は、本来なら捨てられるはずだった食料品をごみにしないで有効に活用する取り組みであるが、単にそれだけにとどまらない。食べ物を通じて、私たちが暮らす社会を見つめ直す機会も提供している。

食品廃棄を減らすコツ、「楽しみながら捨て惜しみ」

冒頭の上岡氏の話にもあったように、食品廃棄物を最も多く出しているのは一般家庭である。食品廃棄をなくすことを目指すのであれば、個人レベルでの改善が求められる。

栃木県高根沢町のエコ・ハウスたかねざわは、環境に関する学習や情報発信の拠点として、ごみの減量化、リサイクルの推進などさまざまな活動を行っている。いくつかあるグループの一つエコ料理研究会では、生ごみを出さない料理の研究などをしているというので、その極意を聞きにお邪魔した。

エコハウスたかねざわの調理室では翌日のエコ料理教室に備え、研究会のメンバーが料理を試作していた。毎回テーマや食材を決めて料理を作っているというが、この日はキノコだった。

「キノコは普通、土が付いたいしづきをざっくり切って捨てるでしょう。でも包丁で丁寧に削り取ると、ごみはほら、ほんの少しだけ」

町指定のごみ袋を持つ高野さん

とスタッフの高野江美さんが教えてくれた。他にも「ピーマンは中の種まで料理に使う」「梨の皮は細く刻んで、春巻きの具に混ぜる。皮に近い部分は甘いから、かえって少し身が残った方がおいしい」「タマネギの皮は煮出してお茶にして飲んでから捨てる。思ったよりクセがなく、辛くない」「魚は皮まで食べて、骨は乾燥させてせんべいに。もしくは乾燥させた後に粉にして何かに混ぜて使い切る」など、生ごみを出さない工夫が次々と出て来る。

「何でこんなことをしているのかよく聞かれますが、高根沢町には生ごみを堆肥にする施設があって、回収には土に戻りやすい特殊な材質のごみ袋を使っているんです。この袋が有料である上に、横25センチ、縦35センチと、それ程大きくなかったので、ごみを減らす料理の工夫が始まりました」

夫婦2人で暮らす高野さんが1カ月に出すごみの量は、この専用袋で二つから三つ程度だという。研究会のメンバーも声をそろえて、ごみが減ったと話す。

「食材って意外に捨てる所がないんですよ。捨てるにしても使い切ってから捨てるというクセがついてきた」

と高野さん。このエコ料理研究会にしても食材をどうしたら食べ尽くせるかという興味を追求する過程の中に、ごみを減量しようという行為が無理なく組み込まれている印象を受けた。

今回のキノコを使った料理は全部で4品。それぞれ13人分を作ったが、出たごみは小さな皿一つ分だけだった。

ここで紹介した高根沢町のケースは、極端な例かもしれないが、一人ひとりがごみを減らそうと意識している点は見習うべきである。我々は食べ物を捨てたり、食べ残すことに罪悪感を感じない生活に慣れて久しい。が、思い出してほしい。この国にはかつて「もったいない」という、すばらしい精神があったことを。

今、日本の食品廃棄を軽減するには、私たち一人ひとりが、日常生活の中で自分のライフスタイルを見直し、高い環境意識を持つことが必要不可欠である。

❶キノコは土の付いた部分だけ、丁寧に削り取る
❷生ごみは新聞紙にくるんで収集日まで冷凍庫に保管。臭いを防ぐ工夫の一つ
❸これだけ作って、生ごみは手前の小皿一つ分
写真／田中勝明

食を巡るキーワード

もうだいぶ前から、食に関連するニュースを見聞きしない日はないように思える。世界は経済、地球環境などが複雑に絡み合う食糧問題に大きく揺れ、国内では食品の偽装や不正の発覚が後を絶たない。家庭の食卓の風景は様変わりし、食育の必要性が叫ばれている。

そうした中、食にまつわるさまざまな新語や造語が登場している。ここにピックアップした言葉の中には、既に日常的な言葉となったものもあれば、耳慣れないものもあるだろう。これらのキーワードを知るこ

生産・消費に関するキーワード

地産地消
【ちさんちしょう】

地域で生産された物をその地域で消費すること。地域生産・地域消費の略で、1980年代に農業関係者の間で広まった。消費者に地域の農産物を購入する機会を提供し、農業者と消費者をつなぐことで、食料自給率の向上、地域農業の活性化、更に食品の輸送距離を縮めて二酸化炭素排出を減らすことなどが期待されている。一方、消費者にとっては「作り手の顔」が見える安心がメリットの一つ。農産物の直売所や、学校給食に地元産の食材を使うなどの取り組みが各地で行われている。

農林水産省は今年9月、地域で収穫された農作物などを地元で消費する活動に貢献してきた「地産地消の仕事人」として、全国で48人を選定している。

スローフード
【slow food】

その土地の伝統的な食文化や食材を見直す運動で、１９６８年にイタリア北部の町ブラで始まった。89年には国際スローフード協会が設立され、国際的な運動となって広がっている。この運動は、次の三つの指針を掲げている。①消えゆく恐れのある伝統的な食材や料理、質の良い食品を守る　②質の良い素材を提供する。地域の中小農業者を守る　③子どもたちを含め、消費者に食や味の教育を進め、本物の食を提供する。

その活動の一つに、各地方の伝統的かつ固有な在来品種や加工食品などの中で、消滅の危機にある希少な食材を選定し、食の多様性を守ろうという「アルカ」プロジェクトがある。日本スローフード協会は「味の箱船（アルカ）」プロジェクトとして、雲仙コブタカナ（長崎）、ハタハタのしょっつる（秋田）などを認定している。

フードマイレージ
【food mileage】

食料の総重量と輸送距離を掛け合わせたもので、「トン・キロメートル」で表す。イギリスの消費者運動家ティム・ラング氏が１９９４年に提唱した「フードマイル（food miles）」という概念に由来。

生産地から消費地までの距離が長い程、輸送に伴うエネルギー消費が多くなることから、出来るだけ近くで生産された食料を食べることで環境負荷を軽減しようという考え方に基づく。フードマイレージの数値が大きい程、地球環境に大きな負荷を掛けていることになる。

相手国別の食料輸入量に輸送距離を乗じて算出した、２００１年の主要各国のフードマイレージ（農林水産省農林水産政策研究所試算）は、日本が約９００２億トン・キロメートルで断トツに高い。その後に続く韓国（３１７２億トン・キロメートル）、アメリカ（２９５８億トン・キロメートル）の約3倍、イギリス（１８８０億トン・キロメートル）、ドイツ（１７１８億トン・キロメートル）の約5倍の水準となっている。

トレーサビリティー
【traceability】

履歴追跡、履歴管理の意。生産段階から消費者に届くまでの履歴を追跡出来るシステムのことで、「追跡」を意味するトレース（trace）と「可能性」を意味するアビリティー（ability）を組み合わせた言葉。

工業製品の品質管理や家電製品などのリサイクル、宅配便の荷物の追跡など、各分野で用いられているが、ＢＳＥ問題や原材料、産地偽装、残留農薬などの問題によって、食品トレーサビリティーに対する関心が高まっている。トレーサビリティーによって、消費者は履歴をさかのぼって商品の生産、流通に関する詳細情報を知ることが可能になる。また、商品に問題が発生した場合、迅速な回収や原因の発見、再発防止につながる。ＢＳＥ問題を機に、２００４年12月には「牛肉トレーサビリティ法」が施行。大手小売店などでは、店内に設置したパソコン端末で、

肉などの生鮮食料品の生産履歴が確認出来るシステムを導入する動きもある。

食生活に関するキーワード

食育【しょくいく】

「食育」は明治時代の書物にも登場しているが、世間一般で使われることはなかったようだ。しかし、近年の食を巡る変化や、家庭の教育力低下などを受けて食育への関心が高まっている。

明治31年発行の石塚左玄著『食物養生法』に「学童を養育する人々はその家訓を厳しくして、体育、智育、才育はすなわち食育にあると考えるべきである」という意味の記述がある。（厚生労働省『平成18年度食育白書』より）

2005年に成立した「食育基本法」は、食育を教育の三本柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置づけ、単なる食生活の改善にとどまらず、食に関する感謝の念と理解を深めることや、伝統ある優れた食文化の継承、地域の特性を生かした食生活に配慮すること等を基本理念としている。

個食・弧食【こしょく】

「個食」は家族がそれぞれ個人でバラバラに食事をすること、または一人分や一食分に分けられた食品。家族が共に食卓を囲む場合でも別々の献立で、各自が自分の好きなものを食べることも「個食」と呼ばれている。

「弧食」は一人で食事することで、食事の際に孤独を感じるような状態を指す。独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成17年度「児童生徒の食生活等実態調査」によると、「一人で食べる」子どもは、朝食で小学生14・8％、中学生33・8％、夕食で小学生2・2％、中学生6・9％。（厚生労働省『平成19年版食育白書』より）

いずれも、子どもの栄養バランスの偏りや、生活習慣全般の乱れ、家族のコミュニケーションの欠如などを招くとして問題視されている。

「こ」に他の漢字を当てる「こしょく」もある。医学博士で料理研究家の服部幸應氏は著書『食育のすすめ』で、他に「固食」（自分の好きなものしか食べないこと）、「小（少）食」（いつも食欲がなくて食べる量が少なくバランスの悪いこと）、「粉食」（パン中心の粉を使った主食を好んで食べること）、「濃食」（調理済み加工食品やマヨネーズ、ケチャップなど、味の濃い食べ物）を挙げ、その見直しを提唱している。

中食【なかしょく】

総菜や弁当など家庭外で調理された食品を家で食べること。家庭で調理された料理を食べる「内食」と、レストランなど家の外で食事をする「外食」の中間にある食事形態を指す。

スーパーやコンビニ、弁当チェーン、惣菜専門店、いわゆるデパ地下などで売られている弁当や惣菜などの持ち帰り食品、ピザや寿司などの宅配がこれに当たる。こうした商品の製造販売業は「中食産業」と呼ばれて、市場規模は年々拡大。社会や家庭環境の変化に伴って、家計に占める中食への支出も増加している。中食の発達が個食・孤食の増加を可能にしていると考えられる。

Executive Officers Message

執行役員メッセージ

前国際会長／
LCIF理事長
マヘンドラ・
アマラスリヤ

ライオンズクエストの拡大

ライオンズクエストは教室の内外で実績ある結果を出しているため、大きな称賛を浴び続けています。ライオンズクエスト・プログラムは学校ベースの総合的で建設的な青少年育成、そして家庭、学校、地域を結ぶ問題行動の防止計画を提供しています。

最近、メキシコ、オーストリア、バングラデシュに対する四大交付金が承認されたことで、このプログラムに参加している国は50カ国となりました。近年、ライオンズクエストは多くの国で順調に拡大しており、積極的にその普及活動に携わっている世界中のライオンズに感謝しなければなりません。

ライオンズクエストは世界的にプログラムを推進して、新たな学生の参加を呼び起こす方法を引き続き模索しています。LCIFは現在、プログラムの範囲を拡大すべく、提携する諸団体と協力すると共に、新しい団体とも積極的に話し合いの場を設けています。

もし、皆さんの地域の学校がライオンズクエスト・プログラムを導入していなければ、夏休み明けのこの時期は、プログラムについて教職員や学校経営者と検討する絶好の機会となります。

ライオンズクエスト・プログラムの授業を受けた学生が、自尊心を高め、前向きな結果を得られたという実践例を聞けば、きっと教育関係者の方たちも、成功を分かち合いたいと思うようになるでしょう。

国際第1副会長
エーバハルト・J・
ヴィルフス

会員維持・増強を最優先に

最終的に2億㌦以上を集め、成功を収めたCSFⅡは偉大な業績です。ライオンズのおかげで、何百万人という人々の視力が保護されることになります。しかし、キャンペーンの成功はライオンズにとっても有意義なことです。私たちは一つの共通の目的に向かって進んだ結果、驚く程の成果を挙げたのです。この貴重な経験は、クラブ・レベルにおいては特に重要です。会員はクラブの奉仕事業に合意し、その目的に向かってエネルギー、能力を傾注し目標を達成することが出来るのです。

会員問題に関しても、私たちは一致団結して行動する能力を生かす必要があります。私たちは会員を維持し、また新会員や新クラブを増やして、更に女性や20代、30代、40代の人たちに入会の手を差し伸べることで、会員の多様化を図らなければなりません。それぞれのクラブは会員のニーズに責任を持って取り組む必要があります。個人では限られた活動しか出来ません。しかし、会員の後ろ楯にクラブがつくことで、よりすばらしい結果を生み出すことが出来ます。

会員の問題は、重要な課題です。新しい会員が増える程、私たちはより多くの奉仕を提供することが出来ます。会員増強活動に全力を注ぎましょう。会員を維持し、会員を増強すること自体が、価値の高いサービスの形態となるのです。

国際第2副会長
シドニー・L・
スクラッグス

私たちの忍耐への鍵

ノースカロライナ州ローリーの盲学校に通う学生たちは教育だけではなく、ライフスキルを学ぶことで、自分たちの能力に自信を得ます。彼らは自立した地域社会の一員になることを学ぶのです。その課外活動を支援しているのは地元ライオンズです。私がこの学校を取り上げたのは、ライオンズによって学校のプログラムに「価値」が加わることを指摘したかったからです。

私たちは奉仕活動を行いながらも、その活動が人々の生活にどれ程影響を与えているか考えることはありません。私たちが、援助を必要としている人々に提供している価値を十分に理解する方法は、奉仕を受ける人々の視点から自分たちの活動を観察することです。

私たちが困っている人々の生活状況を改善し、そこから引き上げる手助けをしていることに気がついた時、私たちは奉仕活動に励み続けることに疲れを感じることはなくなるでしょう。私たちの「真の価値」を理解すれば、活動への手助けを増やそうと、新会員を勧誘し、活動をPRするようになるでしょう。またすべての会員がライオンズでいることの価値に気づけば、アクティビティを始めとしたさまざまな活動にエネルギーを注ぎ、熱心に取り組むようになるでしょう。ライオンズであること、そして自分たちの活動を認めましょう。実際、私たちは奉仕活動を通して、奇跡を起こしているのです。

pick up
ピックアップ

クラブ間交流Ⅰ

歴史で結ぶ姉妹クラブ

文／篠﨑淳之介

私たちの歴史は長く、日本列島各地で活躍した私たちの先祖の記録、あるいは、記録されず人々の記憶にのみ残って語り継がれた物語は、それぞれの地に残っている。土地にまつわる歴史は、その地独自のものであったり、他の地域とかかわりあるものだったりする。

列島各地は、明治維新を境に都道府県に分かれてしまった。けれど、江戸時代も地域は藩や幕府直轄地などに分かれ、それ以前も、古代の地方行政区画「国」の名で呼ばれてきたのだ。各地は互いに交流しながら列島の歴史を刻んできた。

私たち日本のライオンズクラブもまた、それらの歴史の中に置かれている。ひもとけばその地は、他の地と深いつながりの中にあったり、意外な関係があったりもする。

歴史を訪ね、互いに深い結びつきを確かめ合ったクラブ同士が、姉妹提携を結び、歴史に根ざし、友愛に満ちた活動を続けている。その二つのケースを訪ねてみた。

中江藤樹が縁結び

滋賀県・高島＝愛媛県・大洲

近江に生まれた賢い子

今から400年前、関ケ原の合戦が終わって8年後の早春、今の滋賀県に当たる近江の国高島郡小川村（現・高島市安曇川町上小川）の農家に一人の男の子が生まれた。名を与右衛門と言い、後に藤樹と号した。

1616年、9歳の春、この子に転機が訪れる。与右衛門は、米子藩6万石の加藤家に仕えていた祖父の養子となり、彼は祖父と共に暮らすこととなる。翌年、藩主加藤貞康が、今の愛媛県にあった大洲藩に移封、祖父もまた与右衛門と共に大洲に移った。

1622年9月、祖父没後、与右衛門は、その跡を継いで加藤泰興に仕えたが、3年後、父もまた亡くなる。故郷の小川村には48歳の母一人が残された。与右衛門は、大洲で共に暮らすことを勧めたが、母は、長年暮らした小川村を離れ難い、と与右衛門の勧めを断った。与右衛門は、母を独りにしておくことに耐えられず、藩に暇乞いを願ったが、許されぬまま、2年半が過ぎた。後は脱藩の他、道は無い。

祖父没後12年目の秋、与右衛門は大洲を後に、母の住む小川村に向かった。母57歳、与右衛門27歳の秋であった。

五事を正し、良知に致る

願い通り母と共に暮らす日々が始まったが、脱藩して浪人となった与右衛門に収入の道はない。刀を売って元手とし、酒を商うことにした。商いの方法は与右衛門独特のもので、買い手が酒つぼから好みの量を勝手に量り、代金を竹筒に入れていく。与右衛門は、人の心の美しさを信じて疑わなかったのである。

一方、早くから学問に励んでいた与右衛門は、大洲にいた頃から既に儒学を教え、小川村に帰ってからも門人たちにこれを説き教えた。10年後には、王陽明の説に学んで、日本初の陽明学者と言われるようになる。

人々はその徳を慕い、与右衛門の家の庭にあった藤の樹にちなんで、与右衛門を「藤樹先生」と呼んだ。

藤樹は説いた。「考は徳の本なり」とし、人は、皆「良知という美しい心」を持っている。それに至るには、暮らしの中で、「貌（顔つき）、言（言葉づかい）、視（澄んだ眼で見つめる）、聴（相手の気持ちを聴く）、思（思いやり）

の五事を正す」ことが大事だ。この「致良知」「五事を正す」という教えは、広く門人によって広められ、多くの人々に影響を与え、藤樹は、近江聖人と言われるようになる。

藤樹の事跡に結ばれた高島と大洲

中江藤樹ゆかりの大洲と小川が更に深い絆に結ばれる日が来る。

暑い日だった。1973年夏、愛媛県大洲市の大洲ライオンズクラブは、滋賀県の高島ライオンズクラブから予期せぬ提案を受けた。姉妹提携である。高島と大洲は共に、近江聖人中江藤樹の事跡に結ばれているクラブ同士ではないか、と言うのだ。

高島ライオンズクラブは毎年、中江藤樹を祀る藤樹神社の例祭が行われる9月に神社の清掃奉仕を続け、車いすも通れる遊歩道を寄贈するなど、地元の生んだ聖人にちなむ奉仕活動を続けてきた。姉妹提携の申し入れは、更にその活動を大きく広げようとするものでもあった。

二つの地の深い結びつきは大洲ライオンズクラブもまた知りすぎる程知っていた。それを提携のきっかけにしようという発想に異論のあるはずがない。

74年5月、大洲市で姉妹提携の認証式が行われ、11月、大洲ライオンズクラブの会員一行が高島ライオンズクラブを訪れ、両クラブ合同の例会が開かれた。記念事業として、両クラブによる内地交換留学生派遣事業が決まる。二つの市の小中学校から交換留学の生徒を選び、互いの市のメンバー宅に泊まり、藤樹ゆかりの史跡を訪ねて、遺徳を偲び、互いの親善を深めようという計画であった。

75年8月、高島市内の小中学校から選ばれた5人の生徒が、高島ライオンズクラブ会員の引率で大洲へ向かった。

大洲市内には藤樹ゆかりの史跡が多く残っている。大洲小学校に立つ藤樹の少年像、大洲高校の青年像、城山に立つ成年像。その他、幾つかの藤樹ゆかりの地を訪ね、「五事を正す」教えを偲んだ。

翌年夏、大洲の生徒たち10人が高島に向かう。高島市内には藤樹の住居跡（藤樹書院）や墓所、藤樹神社などがあり、生徒たちは、藤樹が「致良知」の志を立てた昔を学んだ。

こうして毎年、両地の生徒たちが相互に訪ね合い、藤樹の事跡を学びつつ幾年かが過ぎた。やがて、交換留学の効果はじわりと現れ始める。

生徒たちは学校の協力で見学の感想を校内発表し、全校生徒に感銘を与えた。夏休み明けのある日、校内を見回っていた教師が気付いた。生徒の掃除の態度が前とは違うような気がしたのだ。だらだらとした印象が無くなっていた。教師らは職員室で話し合った。

「生徒たちの掃除態度が、夏休み前に比べて随分良くなったよ」

教師は皆同じ思いだった。生徒たちは、知らぬ間に交換留学した子らを通して、藤樹の「知行合一」の教えを学び実践していたのだった。

安積開拓が結んだ縁

福島県・郡山開成＝鳥取いなば

ラーメン訪ねて古文書に出会った

人は時に、思いがけぬことに遭遇する。鳥取県の鳥取女子高校社会部の生徒の場合がそうだった。彼女たちは、「食文化と町おこし」というテーマで研究活動を続けていた。初めは蕎麦の名産地を訪ねていた。そのうち、「蕎麦よりもラーメンの方が良いよ。全国のラーメン食べれるじゃん」ということになり、1994年夏、顧問の教師と一緒に福島県は喜多方へ向かった。

喜多方市内でアンケートを実施したが、回収が思うようにいかない。「来年また来よう」となった。これが一つのきっかけであった。

翌95年早春、喜多方での調査が早く終わったので、女子高校生らは福島県立博物館を訪ねてみた。そこに安積（あさか）原野開拓の歴史を示す展示コーナーがあった。顧問の先生が思いもかけず、「鳥取」の二文字を見つけた。「なんだこれは」となった。

その夏、顧問と部員は、郡山に住んでいた旧鳥取士族子孫の人の案内で宇

部神社を訪ね、神社の書庫に予期せぬ重要資料を発見する。約1万枚もの鳥取士族一家の安積野開拓にかかわる古文書であった。消失したと言われていた資料である。運命的出会いと言えた。

安積野開拓史が結んだ二つのクラブ

話は一気に明治初頭にさかのぼる。明治政府成立後、廃藩置県によって旧藩士はすべて家禄を失い、1876(明治9)年には、家禄に応じた金禄公債を支給された。

翌年、西南戦争が起こり、戦費調達のために紙幣が乱発され、激しいインフレーションとなった。定額の公債だけが頼りの士族たちは、甚だしい困窮に陥り、政府の緊急対策が望まれる状況となった。

一方、福島県では明治6年、福島県典事の元米沢藩士中条政恒の積極策によって、安積原野の開墾が始まっていた。

明治11年、安積開拓は政府の士族授産事業として本格化。福島県内の旧二本松・棚倉藩の旧藩士、更には遠く久留米や松山、岡山他、諸藩の旧藩士族が入植した。鳥取からは、明治14年に旧藩士が初めて入植、また、郷里の宇部神社から分霊して福島・宇部神社を建立、最終的には69戸が入植している。

思えば、明治維新の昔、鳥取藩の藩主池田慶徳は将軍徳川慶喜の実兄という立場にあったが、新政府軍として戊辰戦争を戦い、多くの藩士が戦いに散った。幕府側であった福島の地に入植した旧藩士たちは、恩讐を超えて開墾事業に一生を捧げた。その思いはいかばかりであったか。

郡山市には鳥取ゆかりの地名がある。それなのに、あの鳥取女子高生がやってくるまで、鳥取と郡山に格別の交流は無かった。だが、大正、昭和を越え平成になって事態が動き出す。

96年、旧鳥取士族の子孫らによる鳥取実行組合が、郡山市喜久田町に集会所を建設。その祝賀会に、鳥取市長のメッセージを託されたあの女子高校の教諭や、鳥取県知事代理として東京事務所長らが招かれた。

98年、事態は急速に動く。その年10月、鳥取市助役が郡山市役所を訪れ、市の助役が対応に当たった。これが大きなはずみになった。鳥取市の岸本晟助役は、鳥取いなばライオンズクラブのメンバー、また、郡山市の小針貞吉助役も郡山開成ライオンズクラブの会員だった。同じライオンズとしての出会いが、一つのスプリング・ボードとなった。ライオン小針が両クラブの交流を申し出たのだ。偶然の出会いではあったが、この提案に異論の出るはずがない。翌年、両クラブは友好クラブ締結へと進み、05年6月、郡山の宇部神社に鳥取藩旧士族を偲ぶ「ふるさとの石」が建立された。

これが呼び水となったかのように、郡山市と鳥取市の姉妹都市提携が実現した。更に06年4月、郡山市のホテルハマツで鳥取いなば、郡山開成両クラブの姉妹提携締結式が行われ、絆は一層強くなった。

明治初頭、郡山に入植した旧鳥取藩士たちの熱い思いは、ライオンズクラブの友愛の誓いの下でよみがえり、今、更に深まろうとしている。すべてが、あのラーメン調査の女子高校生たちの活動がきっかけであった。

国際理事だより

■国際理事
後藤隆一
（千葉県・柏中央）

インドネシアでライオンズ村完成贈呈式に出席

例年ですと、国際大会終了後の年度初めの時期は、東洋・東南アジア（OSEAL）所属の国際理事が国外に出る機会はあまり多くありません。しかし今年度は、私にとって少し様子が違っています。

7月にグローバル会員増強チーム（GMT）会議出席のためシカゴ本部へ赴いた後、8月にはインドネシアの津波被災地におけるライオンズ住宅群完成贈呈式に主賓として招かれ、9月中旬からはシンガポールにて開催の上位ライオンズ・リーダーシップ研究会、一旦帰国の数日後には台北へ出向くこととなりました。そして10月下旬からは、秋の国際理事会が開催されるハワイのマウイ島に10日間ほど滞在します。役向きとはいえ、多くの有意義な機会を提供して頂けることに、感謝申し上げる次第です。

これら最近の活動の中から、8月のインドネシア訪問について紹介申し上げます。

OSEALとは会則地域を異にしますが、地震や津波が多発するインドネシアは、アジアの仲間でもある国です。2年前のスマトラ沖地震にて甚大な被害を受けた際には、LCIFの資金提供を受け救援活動が行われました。そのアクティビティの一つとして、日本からLCIFを通して支援された40万ドルの資金により、被災者向けの住宅街「ライオンズ村」が建設されました。資金は日本から、立案と実施、そして労力提供は地元ライオンズからという図式による2年間のプロジェクトが、この度完成の日を迎えることとなったわけです。

307－B地区では被災時から今期の女性ガバナーまで3代にわたり指導力のバトンが継がれ、多くのメンバーの協力を得て完成にこぎつけました。高さ6メートルの津波が押し寄せたというバゴロ村にはクラブがなく、車で5時間以上の距離にあるバンドゥン市のクラブ群が主体となり事業が進められました。被災時のガバナーも同市内クラブのメンバーで、私の滞在中は常に付き添ってくれましたが、彼は往復10時間の行程をこの2年間に何十回も通ったと笑顔で説明してくれました。

インドネシアの人々は式典や祭りが大好きとのことです。贈呈式当日は村中の老若男女が全員出そろったかのごとく、式場には500人を超える人々が集い、道路脇には多くの屋台まで出店していました。元国際理事や元地区ガバナー、そして地区役員と一般メンバーの全員が黄色のベストに身を包み誇らしげに整列する中、地元の子どもたちの歌や踊りの披露があり、村長のあいさつに続き国際協会と日本ライオンズを代表する立場で不肖私のあいさつ、そして各家の鍵の伝達など、3時間程の元気で楽しい式典を経験させて頂きました。

村にはホテルがなく、1時間程戻った町のホテルに100人程のメンバーと宿泊しましたが、夕食時も朝食時も話題は奉仕活動のことばかりで、皆、目を輝かせて誇らしげに自分たちのクラブのアクティビティについて語る姿が大変に印象的でした。なお、特筆すべきはインドネシアの女性メンバー比率であり、この307－B地区では過半数を超えている由。お会いしたリジョン・チェアパーソンや地区委員長の多くも女性であり、華やかなライオンズ・スピリットの伝播をうらやましくも感じた次第です。

ライオンズ ニュースカセット

NEWS CASSETTE

写真／ライオン団英男（兵庫県・神戸レインボー・ライオンズクラブ）

リーダーシップの技能向上を目指す研究会

国際協会リーダーシップ部が主催する上位ライオンズ・リーダーシップ研究会が、9月18日から22日までシンガポールにおいて開催された。この研究会は地区レベルでリーダーシップを担う技能の向上に焦点を当てて毎年会則地域ごとに開催されるもので、今回が10回目。OSEAL地域から約100人、日本は28地区31人が参加し、講義は日本語の他、英語、中国語、韓国語のクラスに分かれて行われた。日本の参加者が副地区ガバナー23人を含む経験豊富な会員だった一方、多言語のクラスでは若い会員、女性会員の多さが目立った。

日本語クラスの講師は、ライオン後藤忍（元331・C地区ガバナー／GMTリーダー）、ライオン坂井正（元333・A地区ガバナー／ライオン誌日本語版編集長）、ライオン団英男（335・A地区リジョン・チェアパーソン）の3人。講義は「指導力の変化」のテーマに始まり、「プレゼンテーションのテクニック」、「ライオンズの基本」、「多様性」、「独創性」、「紛争解決」、「コミュニケーション」、「われわれは奉仕する」、「LCIF」、「チーム支援」、「プロジェクト管理」、「メンタリング」の各カリキュラムで、講義後には毎日、小グループで討議が行われた。最終日には、参加者によるスピーチがあり、「地区のリーダーになった時に何が出来るか」について全員が熱く抱負を語って、5日間の学習の成果が各所に見受けられた。研究会は会員同士の意見交換、各地区の実情やアクティビティの実例などを知る機会ともなっており、新しい発想が生まれるものと期待される。

新ロゴマーク使用について

本誌9、10月号で報じた通り、ライオンズのブランド・リニューアルの一環としてロゴマークが刷新された。その使用について国際協会は「旧ロゴのついたものを廃棄しなければならないわけではない。ただし改訂したり新しい用品を作る場合は、新ロゴを使用する必要がある」としている。新ロゴマークのデータは公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）の「情報資源」ページでダウンロード出来る。

2007年度ベスト・レオ賞の発表

2007・08年度のベスト・レオ賞が発表された。この賞は優れたリーダーシップを身につけ、奉仕事業の実施に優秀な成績を収めたレオで、高い道徳規準と誠実さを示したレオに贈られる。07年度は世界で22人が受賞し、そのうち日本からは中山友則（千葉県・柏グリーン・レオクラブ）、宮坂順子（長野県・丸子レオクラブ）、大窪憲治（大阪城北レオクラブ）の3人のレオが受賞した。今年6月末現在、日本のレオクラブ数は149、会員数3431人。

『ライオン』誌ウェブマガジンに新コンテンツ

ライオン誌日本語版委員会がインターネット上に公開中の『ライオン』誌ウェブマガジン（www.the

第2副地区ガバナーの情報及びガイドライン

国際本部地区及びクラブ行政部発信文書から抜粋

世界ではアメリカやドイツなど多くの地区が第2副地区ガバナー職を活用し地区運営を強化してきた。そうした成果を受けて、国際理事会は07年度に第2副地区ガバナー職に関するガイドラインを作成。そして今年、バンコク国際大会の代議員投票で国際付則改正が承認され、正式に第2副地区ガバナー職が設けられた。

Q．第2副地区ガバナーを設けるメリットは何ですか？

地区ガバナーの役割は複雑で、質量共に多くを要求されるものです。地区ガバナーはその責任を第1副地区ガバナーだけでなく第2副地区ガバナーとも分担することが可能となります。これにより協力関係が育まれ、地区運営の継続性がもたらされると共に、第1及び第2副地区ガバナーにはガバナー職を務める準備を一層入念に行う機会が与えられることになります。

Q．地区ガバナーと副地区ガバナーの職責はどのように分けられますか？ またどのように協力しますか？

地区ガバナーと第1及び第2副地区ガバナーはチームを組んで協力し、地区を効率的に指導します。地区ガバナーはチーム・リーダーとして地区運営全般を監督し、チーム戦略の策定、両副地区ガバナーの指導及び意欲喚起、チームの全体的な職務遂行の監督に責任を持ちます。第1副地区ガバナーは主に、会員増強と新クラブ結成への支援を行うと共に地区の各種行事を推進することに責任を持ちます。第2副地区ガバナーは主に、地区に影響を与える会員維持の問題に取り組むと共にさまざまな協会プログラムについて会員の意識を高めることに責任を持ちます。

これにより地区運営を向上させるのみならず、副地区ガバナーがより自信に満ちた有能な地区ガバナーとなれるよう準備期間を与えることになります。第2副地区ガバナーは地区がどのように機能するかを学び、各種プログラムについて知識を高め、地元クラブのニーズを見極めます。そして第1副地区ガバナーとしてクラブと会員を増強し、要請があれば会議や行事で地区ガバナー代理を務めるなど一層重要な責任を担います。既に第2副地区ガバナー職を活用している地区では「実際に任務をこなしながら学ぶ」方法が指導力育成に非常に役立っています。

第1及び第2副地区ガバナーの任務に関する詳しい説明は、国際付則、国際理事会方針書、標準版地区会則及び付則に記載されています。

Q．第2副地区ガバナーが翌年度の第1副地区ガバナーとなる資格を持つ唯一の候補者ですか？

はい。ただし、第2副地区ガバナーが第1副地区ガバナー職に立候補しない場合か、地区大会開催時に第2副地区ガバナー職が空席の場合は、第2副地区ガバナー職の資格要件を満たすいかなる会員も、第1副地区ガバナーとして選出されることが可能です。資格要件の詳細は国際付則第9条6(b)項をご覧ください。

Q．第2副地区ガバナーが第1副地区ガバナー職を、また第1副地区ガバナーが地区ガバナー職を継承するには選挙が必要ですか？

はい。地区は毎年選挙を行わなければなりません。選挙は投票用紙を使い無記名投票で行われ、当選する

には地区大会に出席し投票した代議員の過半数の賛成を得なければなりません。ただし現職の第1副地区ガバナーもしくは第2副地区ガバナーが立候補しない場合、国際付則に規定された候補者資格を満たすライオンが、指名委員会に立候補を届け出ることが出来ます。

Q.一人のライオンが第1及び第2副地区ガバナーの両役職の候補者となり得ますか？

いずれの役職も新設のもので、2009-10年度には空席であることから、論理的には2008-09年度に行われる選挙では一人のライオンが両方の役職の候補者となり得ます。しかしその後の年度については、第1副地区ガバナーとなる資格を有する唯一の候補者は第2副地区ガバナーとなります。ただし、一人が両方の役職を同時に務めることは出来ないので、各地区においては、候補者にそれぞれの経験に適った役職を指定して立候補してもらうことが奨励されます。

Q.地区は地区会則及び付則を改正せずに第2副地区ガバナーを選挙することが出来ますか？

はい。第2副地区ガバナーは国際付則に規定された、国際協会の公式の役職です。第2副地区ガバナーに関するいかなる地区（準、複合）会則及び付則の規定も、国際会則及び付則と整合していなければなりません。万一、地区付則が改正されていなくても国際付則と標準版地区会則及び付則が適用されます。

Q.地区は、そのニーズに合わせて第2副地区ガバナーの任務を変えてもよいのですか？

はい。地区会則及び付則で追加の任務や異なる任務を明確に出来ます。ただし、国際会則及び付則の規定並びに理事会方針と整合していなければなりません。

Q.地区が第1及び（または）第2副地区ガバナー職を有資格の候補者で埋めることが出来ない場合、どのようにして空席を補充すればよいのですか？

地区はいずれの空席も単一、準、複合地区の会則及び付則の規定に従って補充します。下記の要件を満たしているライオンであれば有資格となり、いずれの役職に就くことも出来ます。

- ●所属地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
- ●ライオンズクラブの役員及び地区キャビネット構成員を全期または過半の期間を務めていなければならず、これらの役職はいずれも同時に務めることは出来ない。

Q.第2副地区ガバナーの役職はいつ発効しますか？

第2副地区ガバナーの任期が開始するのは2009年7月です。従って地区は2008-09年度に本役職の候補者を募って選挙を行います。

Q.第2副地区ガバナー職を設けることは必須ですか、任意ですか？

第2副地区ガバナーは必須の役職でも任意の役職でもありません。これは国際協会の公式の役職です。「必須」または「任意」という言葉はこの役職を定義するものではなく、また地区ガバナー職について説明する際にも使われたことは一度もありません。

▼この情報に関する文書の全文は公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org) でダウンロード出来ます。

▼更なる情報は太平洋アジア課にお問い合わせください（Eメール：PacificAsia@lionsclubs.org)。

lion-mag.jp）に、新たに「キャビネット通信」が加わった。キャビネットが発信するニュースから各地区の動向を見ることが出来る。また、従来からあった「クラブ・リポート」をリニューアルし、オンライン投稿機能を新設。アクティビティや例会などの活動報告と写真を手軽に投稿出来るようになった。本誌「クラブ・リポート」欄への投稿として受け付けると共に、スタッフが原稿と写真を確認した後、ウェブマガジンに掲載される。投稿原稿は1200字以内、写真は3枚まで。このシステムを利用するには、クラブ名とEメール・アドレス、IDとパスワードを入力してユーザー登録を行う必要がある。オンライン報告システム「サバンナ」の「ライオン誌投稿」もこのシステムに移行した。『ライオン』誌ウェブマガジンの「トピックス」→「クラブ・リポート投稿」でログイン・ページが表示される。システム利用や登録に際して不明な点がある場合は、ライオン誌事務所（TEL：03・3542・9571　Eメール：act@thelion-mag.jp）へお問い合わせを。

会議録

第1回複合地区IT委員長連絡会議（8月25日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：今井三和、田中稔、松田弘美、野中杏一郎、中田勝昭、西原透、麻生好彦各委員長、藤村貞夫、田中準一、吉岡稔隆、後藤信一、寺川淳之祐、弘内喜代志、山中正春各専門委員、小田邦雄、福永敬両議長）①世話人の互選②IT委員長連絡会議について③今年度の審議課題④その他

第1回複合地区ライオンズクエスト委員長連絡会議（8月26日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：宇田川雄弘、片桐誠治、後藤成志、小西宗仁、豊田良郎、足達靖彦、西園寺純一、福島武各委員長、小田邦雄、八嶌隆両議長）①世話人の互選②福島委員長提出議案

第2回複合地区国際大会委員長連絡会議（9月1日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：神田信男、古谷野環、佐々木貞夫、糸井久夫、滝澤巌、奥村啓二、三谷智省、瀧榮司各委員長、栢森新治国際理事）①第47回東洋・東南アジア・フォーラム②複合地区公認ツアー・コーディネーター選定③第92回国際大会

第2回ライオン誌日本語版委員会（9月1日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：杉本忠夫国際理事、渡邊豊隆、瀧澤嘉門、坂本和彦、坂井正、小岱義正、大島康男、山根健、塩倉安伸各委員、荘英隆、小柴登司両ITアドバイザー）①07年度監査委員監査報告②ライオン誌日本語版事務所の運営③08年度ライオン誌日本語版編集長方針④9月号（11万3700部発行）出来⑤10月号記事内容確認⑥11月号以降台割（案）と主要記事予定⑦ウェブサイト関連⑧オンライン報告システムServannA⑨その他

第3回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（9月5日／パレスビル3階会議室／出席者：大熊泰雄、齊藤實、阿部幸一、福永敬、矢口武克、八嶌隆、百田勝彦各議長、山地章靖議長代理、後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫各国際理事）①前回議事要録の確認と議事録署名人による署名②議案確認③国際会長公式訪問最新日程④国際第2副会長候補者キャンペーンについて⑤330複合地区からの提出案件⑥ライオンズ改革委員会（仮称）設置の確認⑦各連絡会議・委員会報告⑧その他

第2回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会（9月12日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：古郡保郎、秋庭一富、杉山正夫、髙田一男、林孝、竹本實生、加計邦夫、北島建則各委員、中林吉治委員代理、小田邦雄議長）①第1回会議要録の確認②330複合地区会計報告未承認の件③日本ライオンズ連絡事務所移転関係④08年度予算案⑤IT委員長連絡会議の依頼⑥その他

新結成／合併クラブ

和歌山くろしお（野﨑周三会長）▼8月23日結成▼スポンサー／岩井

訃報

■元国際役員

ライオン**椋本善之**（大阪住之江）
9月9日死去、76歳。99年度335・B地区ガバナー。

ライオン**松浦斉**（宮城県・名取）
9月10日死去、67歳。01年度332・C地区ガバナー。

330～333複合地区（東日本）担当
GMTリーダー
後藤　忍

今年度から3年間にわたって継続的に会員増強に取り組む「グローバル会員増強チーム（GMT）」。複合地区、地区とのチームワークで、会員増強の目標達成をサポートするGMTリーダー2人に、それぞれ隔月で、チームの動向や担当エリアの会員増強の成功事例などを伝えてもらう。

アル・ブランデル国際会長の「クラブの活性化とライオンズの未来を見据えて会員増強に共に取り組みましょう」との案内で、7月に開催されたGMTセミナーに出席致しました。

会場は国際本部近くにマクドナルド本社が所有する閑静な大学でしたが、その静けさとは対照的に白熱した論議が交わされました。セミナーの中で、各地区の詳細なデータと過去5年間を分析した膨大な資料が国際本部から配られました。その資料の中で最初に目についたのは、前年度末の会員数が1万5814人のプラスに転じたことでした。ここ数年来、世界全体で会員の減少が続いていたので、増加となったのはたいへん喜ばしいことです。しかしながら七つの会則地域別に見ると、インド・南アジア・アフリカ・中東地域（ISAAME）だけが伸びて、東洋・東南アジア地域（OSEAL）は微増、その他の地域はマイナスとなっています。特にアメリカと日本は大幅に減少。OSEALでは韓国、台湾、香港の増強のおかげでプラスになっており、日本だけが衰退している状況です。

次に目についたのは、女性会員が全地域で増加していることです。男性会員はISAAME地域を除き世界全体で減少しています。セミナーのディスカッションで会員増強に成功した国に聞いてみますと、次のような回答でした。

「10年前から減少が続いていましたが、女性会員と若い会員の増強を最大の命題として取り組み続けたところ、2年前からようやく実を結び上昇することが出来ました」

「女性と若い人たちに魅力あるクラブ作りをしてきました」

日本国内では、まだ従来型のクラブ・エクステンションと一部層の会員のみを求める傾向が残っておりますが、これからは幅広い層のニーズに応えたクラブを結成し、それぞれのクラブの特長を生かした会員増強に目を向けることも必要でしょう。

地域によって、風土、歴史観、経済情勢に違いがあるのも現実ですので、それらを踏まえて地区ガバナー、MERL委員長と共に増強計画を立てていきたいと考えております。計画実現のため、チームで最大限の努力をしてまいりましょう。

●会則地域別会員数（2008年6月末／国際協会集計）

会則地域	総会員数	男性会員(年間増減)	女性会員(年間増減)	年間増減
アメリカ及びその周辺	386,087	296,969 (-8,228)	89,118 (+2,904)	-5,324
カナダ	40,162	31,075 (-640)	9,087 (+337)	-303
中南米・メキシコ・カリブ海諸島	92,190	61,373 (-1,780)	30,817 (+1,768)	-12
ヨーロッパ	271,732	227,128 (-1,946)	44,604 (+1,944)	-2
東洋・東南アジア	259,370	222,942 (-2,247)	36,428 (+3,076)	+829
インド・南アジア・アフリカ・中東	213,331	179,173 (+13,965)	34,158 (+7,241)	+21,206
大洋州及びその周辺	42,766	31,579 (-795)	11,187 (+215)	-580
合計	1,305,638	1,050,239 (-1,671)	255,399 (+17,485)	+15,814

ごとう　しのぶ
（北海道・函館グリーン・ライオンズクラブ）
2007-08年度331-C地区ガバナー。

ライオンズクエスト：大人になるための準備

LCIFファイル

ニュージャージー州クランフォードの街には、ライオンズクエストの成果があちこちで見て取れる。過去15年間、幼稚園児から高校生まで、子どもたちの地域活動への参加が確実に増加しているのだ。ライオンズクエスト・プログラムを通じて、クランフォードの青少年は良識のある市民へと成長している。

「教室に行く度に感心するのですが」と、クランフォードにある公立学校でライオンズクエスト・コーディネーターを務めるアン・マリー・フランシスさんはこう話す。「ライオンズクエストで学んだことは、確実にそして継続的に生徒たちに浸透しているのです。高校生から幼稚園児まで、ライオンズクエストがもたらした多大な影響が、クランフォードの教室の至るところで見受けられます」

ライオンズクエストは、学校を基点にした総合的な青少年育成プログラムで、家庭・学校・地域が一体となって行う。カリキュラムは、コミュニケーション能力・人格教育・前向きな行動姿勢や地域社会でのボランティア活動を通じ、有能で健全な青少年を育てることを目的としている。

ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）が出資するこのプログラムは、学習・社会性・情動学習促進共同チーム（ＣＡＳＥＬ）や、アメリカ合衆国保健社会福祉省の薬物乱用防止局（ＣＳＡＰ）から、コミュニケーション・スキルや感情のコントロールを学習するための優秀で模範的なプログラムとして認められている。

ライオンズクエストの実践が、生徒の成績向上、薬物乱用や暴力に対する認識・態度の変化、非行や落第率の低下、飲酒・喫煙その他薬物使用経験者の減少に有効であるという調査結果も出ている。

LCIF
LIONS CLUBS INTERNATIONAL FOUNDATION

「ライオンズクエストのおかげで、同級生ととても仲良くなることが出来ました」

クランフォードにあるブルックサイドプレイス小学校の5年生、レイチェル・クインさんは話す。

「クラスにはいつも一緒にいる友達もいれば、あまり話をしたくないグループもいます。でもライオンズクエストを通して、彼らについてよく知ることが出来るようになり、友達になれました」

今まで１１００万人以上の青少年がライオンズクエストの授業に参加し、また教育関係者を含む35万人の大人たちが学校や地域社会でプログラムを実践するためのトレーニングを受けた。ライオンズクエストは現在、世界50カ国で実施されている。最近では、メキシコやオーストリア、バングラデシュで交付金が承認され、実施地域は拡大し続けている。ＬＣＩＦは１９８４年以来、ライオンズクエストの活動に協力している。

クランフォードの公立学校での成果は、ライオンズクエストが生徒や地域社会に良い影響を与える多くの例の一つに過ぎない。自立した健康的な青少年育成のため、ライオンズクエスト・プログラムを通じて地域の学校とライオンズクラブは連携を深めている。

SightFirst Update

大口献金者がLCIFを前進させる

アレシア・ディマール

視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）の挑戦的な目標2億ドルを達成し、更に目標額を上回ることが出来た要因の一つとして、大口献金者がライオンズを支援してくれたことを挙げないわけにはいかない。世界中の寛大な献金者によって、視力ファーストの将来の成功は確実なものとなった。

「世界のライオンズや他の同じような団体が、私たちの懸念、関心事、そして予防可能な疾病を抑制、撲滅しようとする責務を共有していることを知り、誇りに思います」と、CSFⅡ委員長のテーサップ・リー元国際会長は話す。

「失明に対する世界的な闘いにおいて、ライオンズはリーダーであり、視力ファースト・プログラムも高い評価を得ています。献金者たちは献金が有効に活用され、また、治療が必要な何百万という人々に、視力ファーストのサービスを提供し、彼らの視力を保護することが出来ることを知っています。世界中のライオンズや私たちのパートナーと共に『すべての人に視力を』提供出来る日が、刻々と近づいてきています」

LIONS CONQUERING BLINDNESS
SIGHTFIRST

オスワル家

4月にアルーナ・A・オスワル元地区ガバナーの家族は、LCIFの40年の歴史の中で、史上最大の個人献金300万ドルをCSFⅡに献金することを約束した。オスワルはインド・ムンバイのジュフー・ライオンズクラブ会員で、CSFⅡではインドのナショナル・コーディネーターとして卓越した指導力を発揮した。

オスワル家がCSFⅡに対し、この歴史に残る献金をしようと決めたきっかけは何だったのだろうか？　オスワルによると、それはLCIFの透明性と説明責任のためだと言う。また注目すべき点は、

「LCIFは受け取ったすべての献金を、ふさわしい場所、ふさわしい時間、ふさわしい理由のために活用します」という彼女の言葉だ。そして彼女は更に「どのくらい資金を集めたかということは、大した問題ではありません。最も重要なことは、どのようにお金を使うかということなのです」と付け加えた。

バンコク国際大会でスピーチをするGHEF理事長のベーリング氏

ムーアフィールド眼科病院

CSFⅡは、視力を保護するという決意をライオンズと共有する、ある国際財団からも献金を受け取った。3月にLCIFは、ムーアフィールド眼科病院基金信託から400万ドルの献金を受け取った。ムーアフィールドはイギリスに本拠を置く、眼病治療の国際センターであり、また視力ケアの研究及びトレーニングにおいて指導的役割を果たしている。CSFⅡを支援するための献金は直接ガーナの首都アクラにあるコール・ビュー眼科病院の新しい施設の建設に役立てられる予定だ。

ケネス・ベーリング

5月にLCIF及びCSFⅡは、アメリカの慈善家であり、また彼の財団である国際健康教育財団（GHEF）から史上最高額の献金を受け取った。ベーリングとGHEFは特に中国全土における白内障手術の提供に焦点を当てながら、世界のさまざまな視力ファースト事業に対して、合わせて750万ドルの献金を行った。

これらの大きな献金額の他に、世界のライオンズからの献金によって、LCIFは視力ファーストのすばらしい活動を拡大し続け、そして3700万人以上の視力を保護することが出来るようになる。

SCENE

日本の伝統を味わう二つの狂言会

兵庫県・神戸生田ライオンズクラブ

■文／久保晋作　写真／明人

御教書（みぎょうしょ）
頂戴し、剰（あまつさ）え
御暇（いとま）までを下され
近日 本国へ
罷（まか）り下る。

9月4日、神戸市の神戸文化ホールで、30年近く続いている二つの狂言会が開催された。

2部構成で、昼は情操教育の一環として小学生を招待する「狂言鑑賞会」。神戸生田ライオンズクラブ（上野昇太郎会長／31人）と神戸楠ライオンズクラブ（鈴木康温会長／17人）が共同で主催する。夜は聴覚障害者を招待し、人間国宝である東の和泉流・野村萬、西の大蔵流・茂山千作を始めとする一流の狂言師が会する「東西狂言名人会」。こちらは神戸生田ライオンズクラブの単独事業だ。

普段なじみのない伝統芸能に触れてもらおうと始まった名人会。かつては一般客を無料で招待し、また同じ演目を異流合同で演じる狂言界初の試みをしたりと、名人会ならではの見所もあり好評を得ている。

以降途切れることなく毎年続いているが、4年前のチャーターナイト40周年を記念して、新たに聴覚障害者の招待も加わった。以後、健常者と同じ目線で古典芸能を堪能してもらおうと試行錯誤し、鑑賞環境が改善されて、今年になってようやく態勢が整ったという。聴覚障害者の方々には通常、門外不出である演目の台本を配布し、あらかじめ読んで来てもらう。当日はホールの2階196席を貸し切り、最前列に35インチのモニターを4台設置。舞台にいる演者の動作に合わせて文字が流れるようにした。

かなりの手の込みようだと思っていたが、更にもう一つ仕掛けがあった。演者は国宝級の名人たち。アドリブで台詞が変わることがしばしばある。これに対応するため、2階席の最後列には要約筆記者6人が待機し、演者の声を聞きながらアドリブが入ると手元のパソコンで字幕をすぐさま修正する。上演された『萩大名』（和泉流）、『千鳥』『二人袴』（大蔵流）の三つの演目すべてでこの方法が行われた。こうした努力が実って、1階席からクスクスという笑い声が聞こえると同時に、満席となった2階席でも肩を揺する人の姿が見られた。

一方、昼の狂言鑑賞会は、神戸市中央区、兵庫区の全23校の6年生を対象に招待。合計1386人が『柿山伏』『附子』の二つの演目を鑑賞した。6年生の国語の教科書には『柿山伏』が収められており、実際に鑑賞することで教養を深めてもらうよい機会になっている。

今年で28回目を数える鑑賞会とあって、中には「私のお父さんも見たと言っていた」という小学生もおり、アクティビティの長い歴史を感じる。

そんな伝統ある神戸生田ライオンズクラブだが、4年前には会員数10人となり解散の危機に瀕していた。

「文化的でユニークな事業をする、歴史あるクラブがなくなるのは残念だ」と、他クラブから2人が転籍。その一人が上野会長だ。これを機に一丸となってクラブ再生に着手し、今では会員数は3倍に増えた。クラブ内にはいくつか同好会があり、掛け持ちする人も少なくない。普段からのメンバーの交流が、アクティビティにも生きているそうだ。

一夜の冗談から生まれて10年目。レパートリー100曲を超える団塊バンド

北海道・稚内北斗ライオンズクラブ

左からシェフ中村、マホメット藤原、マリック戸松、ダンディ岸、ミッドナイト畠山、ウインディ村上。団塊世代が中心のバンドだけに、ベンチャーズが基本だが、演歌からハードロックまで幅広いレパートリーを持つ。練習場はマホメット藤原が住職を務める還来寺の本堂

稚内北斗ライオンズクラブ（竹田俊明会長／66人）の最終例会は家族同伴で、5役による余興が恒例となっている。「ザ・クラブバンド北斗」は10年前のこの最終例会で結成された。つまり一夜限りのバンドのはずだった。そのため「役タターズ」というウケ狙いの語呂合わせ的バンド名を付けていた。

ところが、翌年度がクラブの5周年だったことからバンドの話が再燃。初代「役タターズ」では唯一の経験者だったライオン岸義雄を中心に、「NEW 役タターズ」が結成されることになった。今度は経験者が多く、周年行事での演奏は大好評。すっかりその気になった面々、バンド継続の決意を固めた。

その後は出演依頼があれば二つ返事で受諾。障害者や老人保健施設の訪問、市のイベントなど、外部への露出が増え、知名度も上がった。そして満を持して打って出たのが、2005年のチャリティー・クリスマスライブ。ホテルに300人以上の観客を集め、益金は幼児音楽教育のために使った。このライブは翌年も実施し、もう一つの狙い、稚内の活性化にも大きく貢献した。

今年が満10年。来年はクラブ15周年になる。最北のライオンズバンドの新たな動きに期待したい。

安心・安全な野菜をお年寄りに。そしてついでに芋煮もしちゃおう♪

山形県・天童舞鶴ライオンズクラブ

朝6時、「有気菜園」の看板が立つ畑で、天童舞鶴ライオンズクラブ（妻沼尚子会長／48人）の会員たちが、サトイモの収穫にいそしんでいた。畑ではちょうどトウモロコシや枝豆も食べ頃に。

この日は同クラブと姉妹提携を結ぶ宮城県・利府ライオンズクラブとの合同例会。クラブ有志による有気菜園（結城武志園長）のサトイモを主役に、山形の秋の風物詩である芋煮会シーズンに合わせて企画した。当日は、来年2月に天童舞鶴ライオンズクラブと共に交流事業を企画する北海道・小樽グリーン、兵庫県・明石魚住の両クラブからも打ち合わせと下見を兼ねて参加があり、総勢50人近い大芋煮例会となった。

食材が作られた有気菜園は、前年度にクラブ事業として始まった。食の安全が揺らいでいる折、お年寄りに安心でおいしい野菜を食べてもらおうと、農業委員会を起ち上げ、無農薬・有機肥料の野菜作りに取り組んだ。収穫した野菜は市内にある特別養護老人ホームの清幸園と明幸園にプレゼント。更に今年度は有志により活動を継続。年間約30種類の野菜を育て、お年寄りに季節ごとの野菜を届け喜ばれている。

これからは白菜や大根……、冬にかけても早朝の有気菜園の作業は続く。

CLUB REPORT クラブリポート

●当欄はライオンズ、レオ、ライオネスの活動報告を扱います。投稿は住所、氏名、クラブ名を明記の上、800字程度で。関連写真があれば添付してください

334-A地区第9リジョン

合同防犯キャンペーン実施

今年度、稲垣清明地区ガバナーはスローガンに「勇気と情熱」を掲げ、会員増強と活発なアクティビティの実行を指導している。そこで、クラブが合同で奉仕活動を起こせばすばらしいパワーが生まれるであろうと、第9リジョンでは合同アクティビティを企てた。

江上祐吉リジョン・チェアパーソンのリーダーシップにより、メンバー全員が、ガバナー公式訪問例会の会食を取りやめ、その費用3千円をドネーションして、アクティビティ資金を調達した。

日本の安全神話が崩壊し、社会不安が蔓延している昨今、毎日のようにひったくりや空き巣、強盗事件が報道される。我がリジョンは、名古屋市16区の内、東部6区（東区、千種区、昭和区、守山区、名東区、天白区）にまたがり、今池地区の繁華街や、千種区、昭和区等の住宅地を網羅しており、ここでも繁華街では老人目当てのひったくり、高速道路のインター近くでは空き巣や強盗が頻発している。そこで、「安全・安心」をテーマに防犯キャンペーンを行うことで意見が一致した。

8月23日、「ひったくりにご注意、空き巣にご用心」のスローガンを掲げ、各クラブの名入りののぼりを立てて、市内8カ所に会員が立ち、空き巣防止対策として「防犯警戒中」のステッカー1680枚、ひったくり対策として「防犯笛」850個を配布した。当リジョンの全9クラブが、数カ所で同時に統一アクティビティを実施するのは初めての試みであり、稲垣ガバナーも3会場を激励巡回され、メンバーたちもガバナーの熱意に感激した。

公式訪問例会では、稲垣ガバナーから各クラブ会長に感謝の意が表され、「We Serve」の赤いたすきが渡された。6区にわたる活動において、警察署生活安全課、防犯協会の全面的な協力を頂けたことも、地域社会との密着貢献と共に、この奉仕活動に一層の重みを加えたと思う。事業参加者はライオンズ・メンバー158人、レオ4人、警察署員19人、防犯協会メンバー32人にも上った。

（ゾーン・チェアパーソン／鍋野可幸）

（編）同時多発奉仕活動。広域で「犯罪許すまじ」という地域の基盤を固める、有効な方法だと思います。

広島県・福山松永ライオンズクラブ

小学生の生物調査勉強会

イラスト／篠田和夫

「あ、いた」

干潟で真剣に砂を掘っていた子どもの顔がほころんだ。何か生物を発見したのだ。

福山松永ライオンズクラブ（佐藤伸一会長／44人）は8月24日、福山市松永町で小学生を対象に、専門の先生を招いて生物調査の勉強会を開催した。子どもたちに海の環境保全に関心を持ってもらおうという企画だ。

当日は小学生91人と、保護者、クラブ会員を合わせ約150人が参加。まず先生から松永湾の環境についてレクチャーを受け、その後3班に分かれて干潟に入った。約30分間、スコップを片手に生物を捕獲。先生が巡回しながら、「これはオキシジミ。これが生息しているということは干潟はまだ大丈夫ということだよ」などと子どもたちに説明した。更に、水質浄化に役立つと言われるEM団子の投入や、アサリの稚貝の放流も行った。

松永に住んでいても干潟に入るのは初めてという子どもも少なくない。今回の企画で干潟に興味を持ってくれたようで、「また来たい」という声が多く聞かれた。生物調査の後、スイカ割りや竹とんぼを飛ばして楽しみ、散会となった。

環境保全は一人ひとりが考えて、出来ることから取り組むべき問題。次世代を担う子どもたちが松永湾を見つめ、自然に親しむことで問題意識を持ち、また心豊かに成長してくれることを願う。

（ライオンズクエスト委員長／坂本知光）

（編）参加者が干潟でけがをしないよう、会員が事前に清掃活動を行ったそうです。

東京赤坂ライオンズクラブ

海外姉妹クラブとの学校建設協力

東京赤坂ライオンズクラブ（松田英一郎会長／33人）は1971年、フィリピンのサンパブロシティ・ライオンズクラブと姉妹提携を結んだ。しばらく音信が途絶えていたのだが、2007年にLCIFスタディ・ツアーで同国を訪れたライオン野口正二郎（東京関東ライオンズクラブ）とライオン有野勇（兵庫県・三木中央ライオンズクラブ）の仲立ちで、30年ぶりに連絡が取れ、交流再開となった。

昨年は私たちクラブの45周年式典に、サンパブロシティの会長夫妻が出席くださった。その際、同クラブが手掛ける学校建設プロジェクトの話を聞いた。市内にバロック地区という、廃品回収業で生計を立てている低所得者層の居住地区がある。ここに小学校校舎を新築しようというものだ。敷地面積126平方メートル。1棟2教室で、1室は幼稚園児と小学校1年生用、もう1室は2、3年生及び読み書きが出来ない成人が使用する。我がクラブもこれに協力しようということになり、今年3月に正式要請を受け、スポンサーとしての参加が決定した。

総事業予算は日本円で約100万円。1千平方メートルの建設用地は、地元で大規模農園を経営する一族が、無償貸与してくれたそうだ。私たちは事業予算のうち、鉄筋骨組みの購入資金を支援することになった。

更に、私たちのもう一つの姉妹クラブ、台湾の台南第一ライオンズクラブもサンパブロシティ・ライオンズクラブと友好関係を結び、同プロジェクトに共同スポンサーとして参加した。小学校舎は6月25日に無事完成。同月29日に盛大に開校式典が開催されたのである。

私たち3クラブは引き続き手を携えて、同小学校の運営を支援していく所存である。

（テール・ツイスター／山田浩雅）

（編）3姉妹クラブの協働事業。3頭のライオンが学校を守っている様を想像すると、とても頼もしいですね。

東京秋葉原ライオンズクラブ

「愛は地球を救う」で献血奉仕

東京秋葉原ライオンズクラブ（27人）は8月31日、「24時間テレビ 愛は地球を救う」で、日本赤十字社とタイアップして献血奉仕活動を実施した。

クラブ・メンバー全員参加が基本、そろいの黄色いベストを着用し、武道館沿道で、会場へ向かう人々に献血の意義を説明し、理解と協力を呼び掛けた。都内を始め、関東全域から訪れた多くの方々が協力してくれた。当日は骨髄移植推進財団も出動していて、献血と併せて骨髄ドナーに登録してくれた方もあった。

この計画は、今期初日に鈴木明献血委員長の呼び掛けでスタートし、日本赤十字社の大地山課長、水谷主事同席の下に協議を進め、日時、場所、出動メンバーの班編成等、詳細にわたる検討を重ねてきた。「量より質を向上する」という今期方針にのっとって実施したことで、大きな成果を上げることが出来た。

来る11月8日は「330・A地区奉仕の日」として、石井征二地区ガバナーの下、東京全域でアクティビティが一斉実施される。島和豊ゾーン・チェアパーソン率いる第6リジョン第1ゾーンでは献血奉仕に決定。今回の事業はその良いシミュレーションにもなった。

我がクラブ発足以来、43年にわたって続けてきたメーン・アクティビティである献血奉仕活動は、また力強く新たな1ページを刻んだ。この意義ある活動のバトンを、今後もしっかりとリレーしていく覚悟である。

（会長／安田順一）

（編）66年結成の東京秋葉原ライオンズクラブは、結成記念アクティビティから熱心に献血に取り組み、75年にはラジオ、テレビで献血を訴えるCMを放映するなど、活動のイニシアチブを取ってきました。

宮城県・仙台東ライオンズクラブ

眼鏡リサイクル、半年で1300個

仙台東ライオンズクラブ（氏家裕一会長／19人）は2007年度から、中古眼鏡のリサイクル活動を行っている。国際協会の公認奉仕プログラムの一つで、使わなくなって引き出しなどに眠っている眼鏡を寄付してもらい、眼鏡を必要としている発展途上国の人に贈るというもの。

仙台市青葉区に本店を置く「メガネの相沢」に協力を仰ぎ、宮城・福島両県の全42店舗に回収ボックスを設置してもらった。結果は予想以上で、半年で1300もの眼鏡が集まった。メガネの相沢によると、設置前にも「古い眼鏡の使い道はないか」といった問い合わせがあるなど、近年は市民のリサイクル意識が高まっていたようだ。更に、それがボランティアにつながるとなれば、積極的に協力してくれる人がこれほどたくさんいるのだと証明された。

相沢さんの協力には本当に感謝している。アジアなどの発展途上国では、眼鏡を買いたくても買えない人が大勢いる。回収は今後も続けていきたい。

（PR情報委員長／山田憲司）

（編）眼鏡がなくて視力が矯正出来ないために、仕事を失う大人や、学校の勉強についていけなくなる子どもが、世界には何百万人もいるそうです。

熊本県・有明ライオンズクラブ

初めての中国語会話講座

有明ライオンズクラブ（宮川勉会長／4人）は昨年から、「初めての中国語会話講座」を開講している。土曜日の夜の90分、全10回コース。春秋の年2回クールで、今秋の講座（10月〜）で4回目となる。講師は玉名ライオンズクラブの協力を得て、玉杵名レオクラブメンバーで大学院生の井上翔太君に依頼。荒尾市近郊に在住で、初めて中国語に触れる高校生以上の方が対象だ。

荒尾市には、中国革命で知られる孫文と交流があった宮崎兄弟の生家があり、「観光荒尾」として市のアピールを進める中で、中国からの観光客が増えつつある。そんな状況から、中国語を学ぼうという企画なのだ。

受講生の年齢は18歳〜72歳と幅広い。毎回20人前後が参加する。講座の内容は自己紹介、買い物の仕方、道の尋ね方など、簡単な会話が中心。継続して申し込む人も多く、テキストをガイドブックに、個人旅行に出掛けた人もいる。

クラブではこの講座を青少年育成活動の一環に組み込んでいる。受講費収入は、今年2月に実施した、クラブ10周年記念事業のサッカー場照明設備設置費用の一部に使用。また、有明LC杯キッズサッカー大会にも充て、地域の方に喜んでもらっている。四川省大地震発生後には、受講者の募金と一緒に義援金として送金させて頂いた。

会員が少ない分、一同知恵を絞ってがんばっている。クラブ再生へ向けて、ウィ・サーブ！　（会計／井上典子）

（編）地域の需要に合致していて、ライオンズを中心に、市民が参加し循環していくすばらしいアクティビティだと思います。

福島県・田村ライオンズクラブ

灯籠流しで最優秀賞

福島県田村市船引。延暦21（802）年、東征した征夷大将軍・坂上田村麻呂が、戦で負傷した兵を船に乗せ、引いて運んだという故事からその名が付いたと言われている。町の中央を流れる大滝根川では毎年8月、田村名物の灯籠流しと花火大会が開催される。大小約2千個の灯籠がゆらゆらと淡い光を川面に映して流れ、打ち上げ花火が夏の終わりの夜空を彩る、空と川との光の大競演だ。

田村ライオンズクラブ（35人）は、この灯籠流しに毎年参加している。本年度は結成35周年に当たることから、会員一同、例年以上に気合いが入った。宗像五郎事業委員長を中心に、会員総出でライオン宗像倉義宅に集うこと10日間。奉仕の心をモットーに更なる前進と友愛の精神を込めて、福島県指定重要無形民俗文化財に指定されている「屋形のお人形様」をモチーフに、縦4メートル×幅3メートルの大灯籠を完成させた。

当日は会員有志9人が川に入って灯籠を引き、川の両岸を埋めた大観衆に、「ライオンズクラブここにあり」とアピール。これが高く評価され、最優秀賞に当たる大会会長賞を受賞することが出来た。

お人形様とは、田村市船引町から三春町にかけて磐城街道沿いの集落に祀られる人形の神像。今や屋形、朴橋、堀越の3地区に残るのみとなってしまった。いずれのお人形様も毎年作り替えられ、高さ4メートルもの柱に木製の異形の面を掛け、杉の葉で頭髪や髭をかたどり、わらで編んだ衣を着せて、両手には武器を持たせる。お人形様は外から入り込む疫病などを防ぐために、集落の家々や街道を見晴らす場所に祀られ、にらみをきかせている。

（会長／箱崎哲司）

（編）記念の年に大賞受賞、おめでとうございます。お人形様はとても面白い風習ですね。ところでクラブの大作は、その後どこに祀られたのでしょう。

岡山県・倉敷真備ライオンズクラブ

鉄道の橋脚に壁画作成

倉敷市真備町は、田園が広がるのどかな町。その風景に溶け込むように東西に井原線が走る。

倉敷真備ライオンズクラブ（井川博之会長／28人）はこの井原線の橋脚を利用して、真備町二つの中学校の美術部員に、日頃の成果を発揮する場を提供することにした。橋脚2カ所をキャンバスに、地域をPRする大きな絵画を描いてもらうのだ。足場や画材はクラブが準備。子どもたちは絵筆に力を込め、7月22日～8月21日のほぼ毎日、絵の制作に没頭した。

ついに完成。8月25日、壁画を前に、美術部員、学校関係者、井原鉄道関係者、ライオンズ・メンバーで完成式を開催した。クラブからは子どもたちへ感謝状を贈呈した。二つの作品には、真備町を代表とする竹やさつき、万葉の美女・黒媛などが描かれ、みずみずしい感性にあふれている。

（国際・環境保全委員長／蒔田典幸）

（編）夏休みの壁画制作、いい思い出になりますね。町のPRも出来て一石二鳥。他の橋脚にも描きたいという希望が続出するかも。

愛知県・岡崎葵ライオンズクラブ

中学生の主張コンクール

8月22日、今年で22回目となる「岡崎市中学生の主張コンクール」が開催された。岡崎葵ライオンズクラブ（川口馨会長／66人）からも会長、幹事、教育奉仕委員、PR情報委員長ら多数が出席。当クラブが継続的に事業を後援していることから、来賓祝辞、目録贈呈の栄を頂いた。

壇上に立ったのは、市内の中学校から1人ずつ選抜された3年生20人。元気だった祖父が突然に検査入院、がんと宣告され、自分の祖父に対するそれまでの考え方を話す生徒。電車に乗った時、若いママが幼児をベビーカーに乗せ、更に3歳くらいの子どもの手を握り乗車してきたのだが、自分の立っている端のスペースを譲れなかったという、心の葛藤を話した生徒。また、将来について、夢見る少女のままに頬を紅潮させて話す生徒。発表は5分間で、5人の先生が審査をする。

コンクールから10日程後、当クラブのライオン岡田康孝が、20人全員の発表に対する感想文を書き上げ、学校を通じて生徒に届ける。日常の小さなことに気付いた生徒の観察力を称賛し、例えばインターネットでの顔の見えない無責任な言葉横行に心を痛めている子どもには、その主張に同感しながら、言葉には人を勇気付ける力もあることを申し添え、これからも言葉と友達を大切に学業に励んでほしいと結んだ。20人の生徒たちはコンクールに選ばれた誇りと共に、ライオン岡田の激励文を一生大切にしてくれることだろう。

その後生徒の半数以上、また父兄からも丁寧な礼状が届いている。

子どもたちにはいつまでも今の純粋な気持ちを失わずにいてくれることを願う。そして我々ライオンズは地域のオピニオン・リーダーとして青少年の健全育成に貢献し、その存在を示していきたいと考えているのである。

（PR情報委員長／田中建夫）

（編）人々の前で自分の意見を発表することに加え、ライオン岡田の文を読んで、子どもたちは更に考え行動する勇気を得ることでしょう。

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

●投稿要領→56ページ

獅子吼

在籍20年の結実

左近充　尚典（東京葛飾）

　ライオンズクラブに入会して、ちょうど20年になります。２００８年６月の第２例会で、傘寿の祝いと永年在籍20年、５年間例会無欠席をメンバーの皆さんから祝福されました。

　思い起こせば、入会する３年ぐらい前、友人から「ライオンズクラブに入らないか」と誘われたことがありました。しかし、私には「ライオンズクラブ」が何であるか、何をするところか一切不明で、面倒でもあったため、入会を断り続けていました。

　そんなある日、その友人が、こう語りかけてきました。

「左近充よ、君が今日あるのは誰のおかげだと思う？　事業は順調、子どもに恵まれ、孫たちも皆元気に育っている。それらはすべて、世間の皆さんのおかげだよ。今こそ君は、そのご恩返しをしなければならない時期にきているんだ」

　私はその言葉を聞いて衝撃を感じました。そうだ、残りの人生をただ黙って生きていくだけがすべてではない。そう心から感じました。そして「よし、ライオンズクラブに入って奉仕という立派な形でご恩返しをしよう」と心に誓ったのです。

　入会したのは１９８７年の９月。初めのうちは例会に出ても、周りは知らない人ばかり。みんなが偉い人に見え、とてもまぶしく感じました。それでも、水元公園の清掃アクティビティ、献血奉仕、養護学校の支援活動と、いろいろな活動をするうちにメンバーの皆さんと打ち解け、やがて自分から進んでやろうという気持ちになってきました。

　ある時、先輩から教えられたことがあります。まず第１に「会費を納めること」、第２に「決められた役目は断らずに実行すること」、第３に「例会には欠席しないこと」。私はこれらを忠実に実行してきました。入会以来欠席は１度だけ。家内の里へ事情があって行った時だけです。奉仕を目的にメンバーの皆さんとお会い出来ることが楽しみになり、労力奉仕も苦にならなくなりました。

　入会当時は、あまり目立った奉仕活動は無く、自分なりに少しいら立ちを感じていました。そのような時、葛飾区で薬物乱用防止協議会の存在を知りました。先輩会員が同協議会を退会されることを知り、東京葛飾ライオンズクラの出向役員として、直ちに入会しました。

　年４回の定例会議と、年３回の区の行事に出席することを義務としてがんばることにしました。パネルを展示して、ティッシュペーパーを配り、行き交う人々に「薬物乱用」の恐ろしさを訴えてきました。そのうちに東京葛飾ライオンズクラにも委員会が出来ました。更に私は薬物乱用防止教育認定講師の資格を取得して、早速、近隣の中学校で講義を実施しました。在校生全員を

イラスト／小川和政

講堂に集めて頂き、先生方のご指導の下、ビデオを上映し、私たちの講義を聞いてもらいました。

最初は、生徒たちは私たちの話を聞こうとせず、勝手気ままな行動でした。しかし、そのうちだんだん静かになって話を聞くようになり、帰校の際には感謝の言葉さえ聞かれるようになりました。真心込めて話せば、それが人に通じるんだと確信しました。

他にも、我がクラブが長年、水元公園で継続アクティビティとして育ててきた８００本余りの桜は、訪れる人たちの目を楽しませています。養護学校の生徒たちは私たちとの交流がよほどうれしいのでしょうか、その笑顔は私に生きがいを感じさせます。今後も年齢を気にせず、元気な限りがんばり続けるつもりです。

今年６月の第２例会で３人の新入会員を迎えました。今後、彼ら一人ひとりが、人との交わりを十分理解して、長くクラブの奉仕活動に専念してくれることを期待しています。

（食品香料製造販売・80歳）

私の青春よもやまばなし

加藤　勲（宮城県・仙台南）

８月15日、終戦記念日であります。昭和20年７月10日夜、仙台が空襲に遭い、一夜にして市街地は焼野原と化しました。

幸いに学校周辺は焼け残りましたので、授業は続けられました。授業中に空襲警報のサイレンが鳴ると、先生はいち早く足元に置いてあるリュックを背負って防空壕へ退避するので、授業は中断になりました。学生たちは、そのまま窓越しに上空の敵機Ｂ29を眺めていて、敵機が去ると授業が再開されました。

７月の中旬過ぎ、青森方面へ学徒動員として、陸軍工兵隊と合流し軍用道路新設の測量任務に就くことになりました。夜行列車に乗り、更に軽便鉄道を経て、宿泊地の上北鉱山に向かいました。

八甲田山地の原始林を通じてのルート選定測量です。

宿舎から毎日、測量器具を携帯して、作業に従事することになりました。日ごとに、現場までの道程が伸びるので、大変きつい作業でした。

毎日の食事はお椀１杯だけの雑穀飯と山蕗の味噌汁です。朝食は食べないで、朝食の分と昼食の分を合わせて弁当に詰め、お昼に食べるのです。山中の沢の山菜をも食べました。また、鉱山では、人夫たちの中に外国の捕虜たちも見受けられて、戦争を直接肌で感ぜられました。

１日の作業を終えて宿舎に戻ったところ、「終戦の詔勅」をラジオ放送で知りました。８月15日は、忘れられない特別な日です。戦争に敗れたこと、感無量でした。

「国敗れて山河あり」かと深く感じたのです。私は、これからの生きる道を思いました。家族の生活を優先するために、最善な道は何かと。それは田と畑でした。私は農業を選んだのです。

爾来、今日に及んでおります。

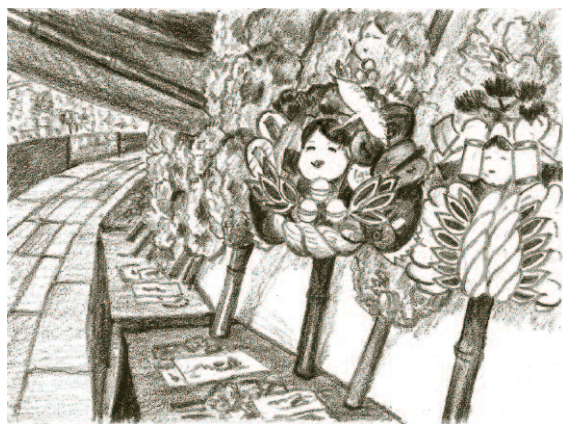
顧みると、私が東北学院中学部に入学したのは、昭和16年４月でした。アメリカの教会系のミッション・スクールです。英会話の授業があり、アメリカ人のＣ先生とＲ先生に教わりました。分かりやすく親切丁寧で、楽しい時間を過ごしました。夏休みになると、先生方は帰国されました。日米両国が緊迫の度を増してきたので急がれたのだと思われました。

授業の一つとして「名作映画を見る会」が、仙台でいちばんの「文化キネマ」にお

いて実施されました。当時は、生徒が自由に映画を見ることが禁止されている時代でした。学校に戻ると「日米両国の開戦」のラジオ放送があり、12月8日は心に残る日となりました。

翌年には、学徒動員が始まりました。最初は「水田の草取り」です。先生も一緒でしたので、お昼にたくさんのおいしいものを頂きました。

続いての動員は、軍用飛行場建設の作業でした。何日か宿舎に泊まり、2人1組のモッコ担ぎで土砂運搬の作業でした。肩が痛くて大変でした。現在の自衛隊松島基地の前身です。

その後、学徒動員は長期間になり、軍需工場での作業になりました。「オートジャイロ」製作の業務です。特殊な飛行機で、主翼が短く、上部には回転翼があり、前面のプロペラによる推進力と共に、回転翼による浮力で飛行します。上空においては、プロペラによる推進力で飛行し、回転翼は空転して、浮力を作る等の性能を持っていました。

戦力としては、対潜水艦攻撃機として開発されました。本土防衛の重大任務を帯びて、潜水艦の上空から爆雷を投下し一発必中で沈没させる名機でした。

私の青春は、戦争に明け暮れた毎日でしたが、東北学院で学んだことと、いろいろな体験をしたことなど、人生で最も充実した年月でありました。平和な今日では、想像もつかないような時代でした。

「こころ豊かに、ウィ・サーブ」

（農業・79歳）

ライオンズ・ライフをもっと遊んでみませんか？

大塚 隆寿（埼玉県・大宮中央）

私は寺の住職ですが、他の寺院との付き合いは格式とか、年齢にこだわるタテ社会の付き合いです。ライオンズクラブは職業、年齢にかかわらずヨコのつながりが無限に広がる社会。僧侶にとっては住みやすい社会です。

年に1度の国際大会には出来るだけ参加するよう心掛けています。とりわけ今年の大会はタイで行われ、その後、アンコールワットに行くというコースがあったので楽しみに参加しました。寺の僧侶としてヒンズー教の寺院遺跡、アンコールワットは前からぜひ行きたいと思っていたのです。

成田を夕方6時10分に出発し、バンコクに夜の10時50分着。ホテルの私の部屋は8階でした。窓から見える町並みは、高層ビルが立ち並び、それなりの発展をしているように見えます。

が、交通渋滞がはなはだしく、我々もそれに巻き込まれました。ホテルから大会の会場に向かうため、バスで出発しても、4車線か5車線の道に車がぎっしり。なかなかその車列に割り込めません。

車検も無いそうで、古い車もたくさん走

獅子吼

っています。地球温暖化防止とは無縁の世界に感じられます。

さて、大会参加や観光をするうち、バスで座る席が何となく決まり、その頃になると、それぞれが打ち解けてきます。いつも国際大会で一緒になる大先輩や奥様同伴のメンバー等、顔なじみの方もいらっしゃいます。

開会式の夜、地区のガバナーズナイトが行われました。女性たちは見違える程ドレスアップして出席。私も久しぶりに会うさまざまなクラブの方、以前モンゴルのライオンズを訪問した際にご一緒させて頂いた福島県のメンバーの方など、ガバナーズナイトならではの雰囲気を堪能。ガバナーや元ガバナーと酒を酌み交わしたり、写真を写し合ったりと、楽しいひとときでした。

翌日はフリータイム。それぞれオプショナル・ツアーを楽しんだようです。私は、ピリッとする油ぎったタイ料理に飽きてきて、その夜は滞在したホテルの地下にある大きなスーパーマーケットに行き、寿司の盛り合わせを始め日本食、果物等、日本のスーパー以上の品揃えのある売り場でお買い物。寿司にはマヨネーズがかかっているものもありましたが、魚醤だけ付いている寿司などを選んで、一人での晩餐を楽しみました。明日はいよいよ、閉会式の後にカンボジアへ向かいます。

アンコールワットは以前から写真では見ていました。が、実物に対面すると、その広さ、壮大さに圧倒されました。

一行はアンコールワットのデコボコした石畳を、転ばないように細心の注意を払いながら歩き、壁画などを見学。連日30度を超す暑さに全身汗びっしょり、シャツの背中に塩がふいてきます。そんな共通体験を通して、ここでもまた、たくさんの新しい知り合いが増えました。

最近の個人情報非公開の流れで、参加者のリストは配布されません。しかし、バスやレストランで隣り合わせたり、写真を撮り合ったり、買い物で重くなった荷物を手分けして持ち合ったりと、徐々に親しくなってきて、クラブ名、連絡先など教え合いました。

皆さんも、ライオンズ・メンバーになったなら、例会出席、委員会活動、親睦会ばかりでなく、ぜひ国際大会などに都合をつけて参加して、ライオンズ・ライフを広げてみませんか?

「あいつは暇だから」などとは言わず、時間を作り、もっとライオンズを遊びましょう。

（僧侶・69歳）

青少年英語スピーチコンテスト～君のチャレンジ、未来を開く～

田中 久雄（東京五反田）

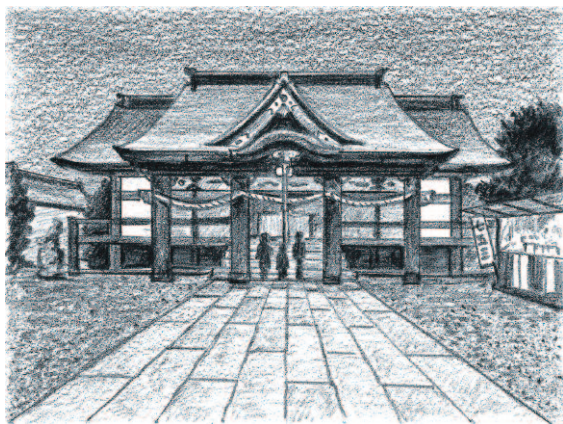
英語は今や特定の文化から切り離され、世界の共通記号となった。文部科学省でも小学校の教育課程の中で、英語教育に熱心に取り組む姿勢を見せ始めた昨今である。

東京五反田ライオンズクラブは故ライオン加々尾一夫（元地区ガバナー）が英語に堪能であった影響もあり、英語に強い会員が多い。そんなことから1999年3月、中学生の英会話講座を品川区教育委員会後援のもと開講。以来、21世紀を担う中学生が、英語の感覚を磨き、欧米人のユーモアのセンスを学ぶ上で役立つものと考え、継続実施してきた。

4年前、私が330・A地区レオ・青少年育成委員会副委員長に指名された折、同委員会委員長のライオン河合悦子（東京みやこライオンズクラブ）にこの講座の話をした。するとライオン河合は、その企画をぜひキャビネットで

行いたいと言われ、青少年英語スピーチコンテストとして実現。第1回は２００５年５月、東京都、心の東京革命推進協議会（青少年育成協会）、330複合地区青少年指導委員会の後援を得て開催された。

今年度の第４回コンテストは６月22日、コンベンションルームＡＰ西新宿で２００人近い参加者が見守る中、330・Ａ地区ＹＥ委員会（島田益吉委員長／東京砧ライオンズクラブ）の主催で開催され、今井三和330複合地区ＹＥ委員長（元地区ガバナー）が来賓として「あいにくの強い雨の中ですが、視野広く、心豊かに、落ち着いてがんばりましょう」と出場者に声援を送った。

出場者は13人で石原都知事賞は巣鴨高校の高山正行君（東京砧ライオンズクラブ推薦）が受賞した。テーマ「最近のニュースに思う事」の中で５月26日、巨大地震が中国を直撃し７万人を超える方々が亡くなったことに触れ、危機に瀕した生命を救い、人々の傷ついた心を癒やしていくために何が出来るかを考えて頂きたいと発表した。

330・Ａ地区ガバナー賞は昭和女子大付属昭和高校、大根田茉貴さん（東京芝ライオンズクラブ推薦）で、彼女が「ボランティアおたく」と呼んでいる祖母のあーちゃまは、ライオンズのメンバーとして麻薬撲滅キャンペーンや障害者運動会等をサポート、日常生活の中で、路上や車・バス・飛行機に乗っている時などに、困っている人に向けて、しばしば「お助けビーム」を発射。そんな祖母の後姿が大好きです、と述べた。

出場者全員が勇気をもってスピーチ原稿をまとめ、情熱をもって発表する真摯な姿勢と輝く瞳に触れ、深い感銘と頼もしさを覚えた。なお審査には30分近くを要し、いずれも甲乙つけがたく、他にＹＥ委員長賞・奨励賞・会場賞等が授与された。

銀行マンとして長期間イギリスに赴任した経験を持ち、第１回大会から審査委員長を務めているライオン石原宏高（東京五反田ライオンズクラブ）は講評の最後で「これから台頭してくるであろう中国、インド等の青少年に負けないよう、英語を通して若い世代の人たちと交流を広げ、相手のよき理解者になるようがんばりましょう」と激励した。

日本人の英語能力は低く、ＴＯＥＦＬの成績ではアジア諸国で最下位にとどまっている。しかし、この英語スピーチコンテストでは、毎年確実にレベルアップしていることが感じられる。コミュニケーションよりも受験に主眼を置いてきた教育方法にも問題があるが、将来、ネイティブと対等に英語で討論出来る能力を身に付けるにはスピーキングとリスニングの習得が不可欠であり、このコンテストは大きな刺激になるに違いない。来期は５周年となる。東京五反田ライオンズクラブで芽生えたこの事業が330・Ａ地区において継続され、大きく育ち、大樹として根を張るよう祈って止まない。

（食品販売業・71歳）

Close up

趣味の手描き映画看板製作

学校を出てから福島の屋外広告の会社に就職し、映画の看板などを描いていました。でも独学だし、もっと上達したいという思いが常にあったんです。それで周囲の勧めもあり、勉強のため東京に出ました。昭和33年でした。日本人が最も映画を見ていたのが、この年だそうですね。東京では日比谷のスカラ座やみゆき座、渋谷パンテオンなどの映画看板を専門に扱う会社にお世話になり、3年間、みっちり勉強しました。

福島に戻った後、昭和37年に会社を興したんですが、その頃にはテレビが普及し始め、映画は衰退の一途。いっこうに映画看板の仕事は入ってきません。一方で会社は順調、仕事に追われる毎日になりました。それでも、映画看板のことを忘れたことはありませんでした。会社設立の5年後ぐらい、昭和40年代初めだと思いますが、ある日、無性に映画の看板が描きたくなり、自宅で自分用の看板作りを始めました。以来約40年、趣味で手描きの映画看板を自作しています。

普通の絵ではなく、なぜ看板なのか、とよく聞かれます。看板は人の注目を集める目的があるわけですが、絵や文字、バックも含めて一つの作品なんです。最初にスターの顔を描いてどこに配置するか決め、バックは、書体は、キャッチの位置は、と映画を思い浮かべながら製作していく。その過程が好きなんです。それに、映画自体も好きですし。

ジャンルですか？　やっぱり西部劇かな。ジョン・ウェインやアラン・ラッド……、マカロニ・ウエスタンなんかもいいですね。それに昔の俳優は存在感がありました。ゲイリー・クーパーとかマレーネ・ディートリッヒ、自分の看板によく描いているのは、オードリー・ヘップバーンですね。

これまで200本近くの映画を描きましたが、手元に残っているのは30点ぐらいです。この夏、福島市内で展覧会を開き、多くの方にご覧頂きました。次回開催の打診も既にあり、次は邦画もたくさん描きたいと思っていますが、なかなか資料がないんです。それで今度、東京・神田の古本街に行って、昔の映画資料を探してくるつもりです。

今はデジタル時代ですが、私はこれからも、手描きならではの味、迫力を、映画看板の中に表現していきたいですね。

■橘剛

たちばな・つよし　福島信夫ライオンズクラブ。1936年福島生まれ。福島の美術広告会社に就職し、手描きの映画看板製作を担当。その後、勉強のため3年間、東京の映画看板専門の製作会社で働き、帰郷後62年にタチバナ工芸社を設立。現在、同社会長。福島市技能功労賞、福島県知事表彰など受賞歴多数。81年福島信夫ライオンズクラブ入会、95年度及び05年度クラブ会長、01年度332-D地区キャビネット会計を務める。

構成・写真／編集部

会社の2階をギャラリーにして
一般公開している

エブリデー・ヒーロー

＊ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」募集中。会員の皆さんだけでなく、会員家族、事務局員などライオンズにかかわる方の投稿も歓迎します。▼800〜2千字程度の文章にまとめ「エブリデー・ヒーロー」係へお送りください。送付先は57ページをご覧ください。

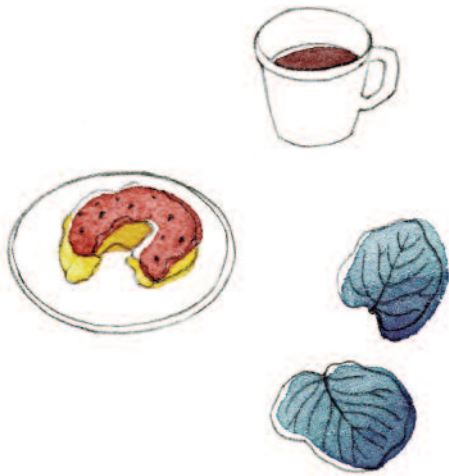
イラスト／吉田悦子

"Lions are everyday heros."

「感動を頂く喜び」

2004年3月、宇都宮マロニエ・ライオンズクラブ結成5周年の記念例会で入会させて頂き、早5年目を迎えようとしています。「心に太陽・目に世界・両手に奉仕」という当時のクラブ・スローガンを今もはっきり覚えています。

「ライオンと呼ばるる人」には程遠く、いまだ十分に理解も出来ていない私ですが、昨年度は社会福祉・環境保全委員会に所属し、日本網膜色素変性症（JRPS）協会栃木県支部への支援を始め、さまざまなアクティビティに参加致しました。

JRPSは、網膜に異常な色素沈殿が起こる一連の病気のことで、暗いところが徐々に見えにくくなったり、長い年月をかけて光を感じることが難しくなるそうです。アクティビティを通じて初めて知った病名で、心が痛みました。

JRPS協会のイベントには、野山や自然に触れながら患者の皆さんと一緒に散策を楽しむ日帰りバス旅行や、温泉地での一泊交流会があり、毎年支援を続けています。

昨年は8月の暑い日、鬼怒川龍王峡渓谷の散策の会があり、ご一緒しました。目の不自由な方の腕を支えてお世話しながら渓谷沿いの険しい階段を下り、滝が水しぶきをあげて落ちてくる場所までたどりつきました。その方は途中で、「山の木々を吹く風は気持ちがいいですね」と木の葉を揺らす風のかすかな音を感じとっていました。下りるにつれて空気の匂いや違いを感じ、水辺に近づくと水の香りと川辺をわたる冷ややかな風の感触を楽しんでいます。目が見えなくても全身で感じ取り、表現する感覚のすばらしさ。いつお会いしても、患者の皆さんからは光を失いゆく心の重さが感じられません。そのことに改めて感動し、勇気を頂く思いです。

視覚障害のある方への理解を更に深めるかけがいのない経験、機会を頂けたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後もさまざまな環境の中で多くの人々と出会い、相手の立場を理解し、手を差し伸べたいと思います。

山口京子／栃木県・宇都宮マロニエ・ライオンズクラブ

「再認識したアクティビティの意義」

小松青雲ライオンズクラブでは市内小学校の5、6年生を対象として、毎年1月に「イングリッシュ・レシテーション・コンテスト」を開催している。

この継続事業で忘れられない出来事があった。第2回大会（2002年）で、各参加者が課題を暗唱して見事なスピーチを行う中、一組の女子ペアだけがノートの切れ端を手にしてステージに上がった。しかも何度も何度もつまづき、時には笑みさえ浮かべながら発表していた。その態度には、参加するに当たっての心構えや意気込みなど全く感じられず、メンバー一同、残念な思いを抱いた。

コンテストが終了し、卒業式が真近に迫ったある日、あの時の女子ペアが通う小学校の校長から、涙が出る程うれしい話をお聞きした。二人は大会での悔しさをずっと胸に秘め、練習に練習を重ねていたらしい。卒業式前の朝の集まりの中で、コンテスト課題のスピーチを行うことを志願。全校生徒の前で見事に披露したそうだ。

この話を聞き、この事業が子どもたちに与えるすばらしい影響を再認識し、今後とも持続させていくことを誓い合った。

村本吉広／石川県・小松青雲ライオンズクラブ

熊本県阿蘇市

先人たちから受け継がれてきた、大いなる遺産「千年の草原」

■文／砂山幹博　写真／田中勝明

人の手によって守られてきた大草原

阿蘇山という山はない。

一般にそう呼ばれているのは、阿蘇五岳という五つの山の総称である。この五岳を中心に周囲約１３０キロを外輪山が取り囲み、世界最大級のカルデラ（火山活動によって出来た巨大な凹地）を形成している。

「阿蘇＝火山」のイメージは、五岳の一つ中岳のもの。もうもうと噴煙を上げる火口のそばまで寄れる火山は他にないとあって、中岳の中央火口丘は観光のメッカとなっている。しかし、阿蘇を訪れて多くの人が感じる印象は、火山のそれではなく、まるで緑の絨毯を思わせる大草原の景色ではないだろうか。

現在、阿蘇地方に広がる草原の総面積は2万3千ヘクタール。国内2位の秋吉台（山口県）の3千ヘクタールを大幅に上回る、文字通りの大草原である。そして驚くのは、この草原が、人為的に作られたものだということである。阿蘇で草原保全の支援活動を行う㈶阿蘇グリーンストックの山内康二専務理事に話を伺った。

「草原は放っておくと枯れ草が堆積し、灌木が生い茂り荒れ野となります。ですから畜産を生業としてきた先人たちは、草原に灌木がはびこるのを防ぎ、ネザサやススキなど牛馬が好きなイネ科の植物の芽吹きを良くするために、野焼きをして牧草地を確保してきました。これによって、阿蘇の草原は千年もの間、その景観を保ち続けてきたのです」

平安時代に書かれた『延喜式』にも「肥後国の二重の馬牧」という記述があり、当時から放牧が行われていたことが分かる。ここで育った馬は軍馬として太宰府政庁に奉納されたという。現在、草原の主役は馬ではなく牛。特に、あか牛と呼ばれる褐毛和種を始めとする肉牛の生産拠点となっている。

野焼きの炎による熱は、地表から約3～4センチに伝わるだけでそれより下はほとんど影響を受けない。だから、春が来る度に草の芽が顔を出す。

草原は炎の中から再生する

野焼きが行われるのは2～3月。枯れた草原に火を入れるのは、阿蘇地域に１７５ある入会権組合の人たち。総勢7千人による大仕事である。

山林に火が燃え移らないように、あらかじめ木々と草原の境目を10メートルほど刈り取って防火帯を作っておく。野焼きの前に行われるこの防火帯作りが最も重労働。草原のほとんどが傾斜地であるため機械を入れることが出来ず、手作業による草刈りを強いられる。しかも木々との境目にはすべて防火帯を

作らなければならない。刈り取る防火帯は直線にして640キロ、熊本から静岡に届く長さとなる。

野焼きが終わり、1カ月もすれば焼け焦げた山肌はあっという間に新緑に変わり、5月には牛の放牧が始まる。

草原を見渡すと黙々と草を食べ続ける牛の姿。どこを見渡してもエサにありつける状況はうらやましい限りだ。牛は1日に体重の10~12%に当たる草を食べるというから、成牛で約600キロになるあか牛は70キロ近い草を食べている計算となる。

5月~11月の放牧期間に1頭で1~2ヘクタールの草を食べるため、草を食べる行為は「舌刈り」とも呼ばれる。長く伸びた牧草を刈り取り、しかも機械とは違い肥料まで撒いてくれる。ススキのような長めの草は人の手で採草され、これも干し草となって冬場の牛の飼料となる。このように牛のエサが年中手に入るのも、毎年多くの人々の手で野焼きが行われるからである。

では、野焼きが行われなくなると一体どうなってしまうのか。すぐに草原は荒れ果て、数年で林野に変わってしまう。牛はエサを失い、畜産農家は生計を立てられなくなるだろう。それだけではない。阿蘇は火山灰土壌であるため、土砂流出の危険も高まるという。

「野焼きをした後に生える草は、茎が横に広がって成長します。これにより阿蘇の火山灰大地に自然のネットが掛けられた状態になります。草原のおかげで雨などによる土壌流出が抑えられていると考えられます」（山内さん）

何よりも緑の草原が失われれば、年間1800万人が訪れるという観光に悪影響を及ぼす。人の手による草原維持。この大いなる英知は、阿蘇で暮らすすべての人たちに少なからず恩恵を与えている。

自然の恵みこそがいちばんの宝

阿蘇では現在、その自然の恵みを享受する観光が注目されている。例えば㈶阿蘇地域振興デザインセンターが用意するエコツーリズムもその一つ。

「阿蘇を熟知した自然案内人と共に、自らの足で大地を踏みしめながら自然を楽しむというツアーです。原生林や草原の中を歩いたり、阿蘇の火口を楽しんだり、自然案内人が付きっきりで普通の観光では行けないような場所へお連れします」

とは、同センターの石松昭信さん。反響もなかなかで年々参加者が増えているそうだ。面白そうなので早速体験してみた。

案内人は、阿蘇の自然保護活動に携わって40年という阿蘇自然案内人協会の高村貴生さん。高村さんが案内して

❶自然案内人の高村さんが指さす方向に阿蘇五岳が見えるはずだったが……
❷カルデラを埋め尽くす阿蘇の雲海
❸白菜、ニンジン、ゴボウ、キュウリ、カボチャなど料理に使うほとんどの野菜が自家菜園で手に入る（森の駅どんぐり）
❹素材の味を生かした田舎料理は、意外にもフランスワインとよく合うという（森の駅どんぐり）

くれたのは、阿蘇北外輪山のとある渓谷。涼やかな渓流の中をザブザブとトレッキングしていくのだ。

「ほら、そこにいるオタマジャクシ、しっぽに斑点があるでしょ。これはカジカ（ガエル）の子。上に生えている大きな葉っぱのある木。これ何か分かる？　答えはホウノキ。飛騨の高山で味噌を付けて焼く朴歯っていう葉っぱがあるでしょ。あの葉っぱの木がこれ」

と、こんな調子で、目に入ったものを次から次へとテンポ良く説明してくれる。どこでそんな知識を得たのかを尋ねると、「生まれも育ちも山の中。川端が通学路だったから」と、笑顔を見せた。

自然の恵みを食べることで楽しむ観光客も増えている。「森の駅どんぐり」は、菅乃保留さんと美佐子さん夫婦で始めた農家レストラン。米倉を移築して3年かけて改装したというこちらのお店では、3反ほどの家庭菜園でとれ

郷土自慢・クラブ自慢

阿蘇ライオンズクラブの郷土自慢は、だご汁と高菜めし。ともに阿蘇地方を代表する郷土料理である。だご汁の「だご」は「だんご」の意で、簡単に言うと味噌仕立てのすいとん。もともとは、朝から晩まで農作業で忙しく、食事の手間を省きたい農家がさっと準備してさっと食べるファーストフードであった。家庭によってさまざまだが、具にはゴボウやニンジン、サトイモなど季節の野菜、鶏肉か豚肉、米もしくは小麦をこねて作っただごが入る。

高菜めしは、阿蘇地方などで古くから栽培されてきた芥子菜の一種、阿蘇高菜を使った料理。油で炒めた高菜とご飯を混ぜ合わせてゴマを振っただけのシンプルな一皿。ピリっとした辛さに、つい食が進む。

▼阿蘇ライオンズクラブ（二宮純一会長／39人）＝1969年3月20日結成／スポンサー：熊本キャッスル・ライオンズクラブ

■阿蘇ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（56ページ）

撮影協力：山賊旅路

た野菜や地元の食材を使った田舎料理を楽しめる。「阿蘇の田舎の雰囲気をゆっくり楽しんでほしい」というコンセプトに共感したお客さんの口コミでジワジワと人気を広めてきた。

「阿蘇には大自然があります。ここに住んでいる私たちは意外にこの宝に気付いていません。千年も前からこの地に住み着いた人々が残してくれた財産を食、農業を通じて多くの人に知ってほしいのです」

阿蘇に生まれ阿蘇で育ってきたご主人が、ふるさとの魅力を誇らしげに語ってくれたのが印象的だった。

読者プレゼント

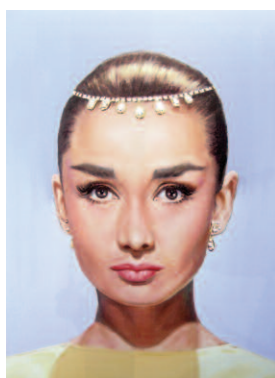
からし高菜を10人の読者に

「ふるさと探訪」（51ページ）に登場した熊本県・阿蘇ライオンズクラブから、「からし高菜」（江藤加工食品／ライオン江藤俊一）が10人の読者にプレゼントされます。

阿蘇の雄大で豊かな自然の中で育まれた「阿蘇高菜」で作られたからし漬けです。アツアツのご飯に乗せたり、おにぎりにするもよし、また炒飯やラーメンの具材としてもおいしく召し上がれます。

オードリー・ヘップバーンの絵を読者1人に

「クローズアップ」（48ページ）に登場したライオン橘剛（福島信夫ライオンズクラブ）が描いたオードリー・ヘップバーンの絵（縦60×横47センチ）が読者1人にプレゼントされます。

ライオン橘は手描き映画看板を作り続けて40年、デジタル時代の今、その作品からは手描きならではの温もりが伝ってきます。

応募要領：はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名、ご希望の品「からし高菜」「オードリー」のいずれかを明記し、ライオン誌プレゼントあてに。本誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp /index.php?op=0）からも応募出来ます。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は11月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

2008年12月号予告

THEME **ライオンズ雑学事典**

「『LIONS』の呼称はどのように決まった？」「ライオン帽はどこで作ってるの？」「ライオンズ密度の高い市町村は？」など。ライオンズに関する雑学を「ライオンズはじめて物語」「ライオンズ豆知識」「ライオンズ・ギネス」のテーマで紹介する。その他、2007-08年度ライオンズクラブ統計も収録。

ライオン誌投稿要領

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。▼住所、氏名、クラブ名を明記。

■**クラブ・リポート**38〜42ページ：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。関連写真があれば添付。

■**獅子吼**43〜47ページ：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。

■**エブリデー・ヒーロー**50ページ：ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」をお寄せください。800〜2,000字程度で。会員家族、事務局員の投稿も歓迎。

送付先：
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630　E-mail：edit@thelion.jp

築地通信

●ここ2カ月、右手の腱鞘炎でサポーターの毎日です。治りを早くするために親指を固定しているので、まるで骨折したかのよう。人に会う度「どうしたの？」と声を掛けられます。この間は事務所近くのおでん屋さんでジュースをご馳走してもらいました。スーパーではレジの人が籠を運んでくれたり、荷物を詰めてくれたり、何だか至れり尽くせりです。こうやって助けてもらうと、人のありがたみに気づかされますね。（かめだ）

ライオン誌事務所来訪者芳名録

8 12　北海道函館グリーン　後藤　忍
8 12　富山昭和　高田　順一
8 18　岐阜県瑞浪　五十嵐貞夫
9 24　千葉県四街道　楠岡　巌
9 26　埼玉県大宮見沼　武藤　博昭

編集室

病気になっておめでとう

ライオン誌
日本語版委員
◉
坂本和彦
（青森県・鶴田）

苦しみを喜んで迎え、病気になれば「おめでとう」という時代がやってきた。そんな表現の仕方を聞いた時は、「えっ」と自分の耳を疑ったものである。

昨年7月、「まさか自分が？」という事態が現実となった。内視鏡の検査結果から食道がんと告知されたのだ。リンパに転移していたことから事態は更に深刻になった。胃と食道のすべて、リンパ節106カ所切除という手術は8時間以上に及んだ。

周囲では、「この調子だとあと何カ月も持たない？」「末期がんだ」という噂があっという間に広まったようである。家族や友人たちの気遣いが伝わってくる程、不安感と孤独感だけが募った。午後9時消灯。暗い病室で考えることは、「私が死んだら、会社は、家族はどうなるのか……」ということだった。それは残った人たちが考えることなのに、なぜか悲しくなってしまう。そんな状態が続いたある夜、夢を見た。亡くなったおふくろが出てきて、「和彦、あなたはまだ世のため、人のために働かなきゃだめよ。それには病気と友達になりなさい」と言う、不思議な夢だった。

目覚めた時、窓の外はすがすがしい夜明けの空気が漂っていた。

「昔の人は死を重んじ、立派な死に方をしたいと念じた。正しく生きた人でないと、美しい死に方は出来ぬ。見事な死にようをした人は、見事な一生を貫いた人である」ある講演会で聴いた言葉である。

今では、「病気になっておめでとう」と自分に言えるようになった。9月11日は、手術した記念すべき日である。今年は、私の食道がんを発見してくれた主治医ご夫妻を招き、親しい友人と家族と共に、「延命1年感謝の夕べ」を自宅で開催することが出来た。主治医からは「転移していたことから今後5年間は検査を密にしなければ……」と言われた。今このように文章を綴れることに感謝したい。

今後は、「病気になっておめでとう」と言い切れる自分を目指したいと思う。

Official publication of Lions Clubs International

LIONS INTERNATIONAL

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

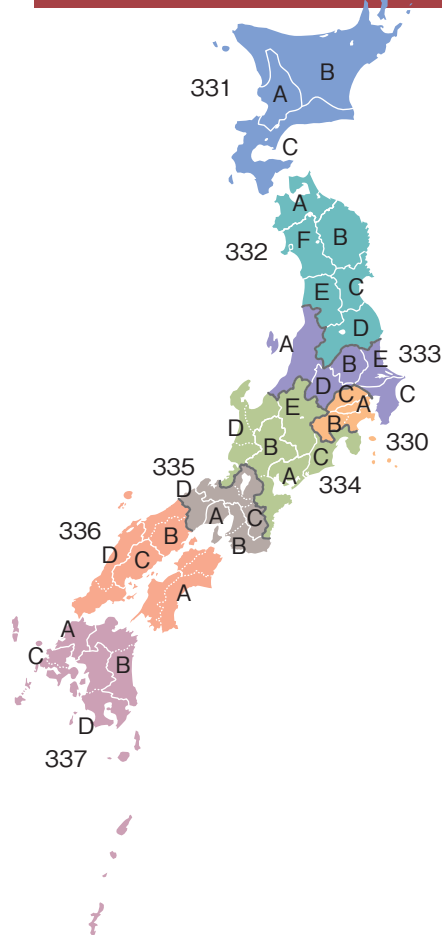
Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571（代）　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

日本のライオンズ

2008.8.31　各地区キャビネット事務局集計

地区	都道府県	■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	202	0	5,171	22
330-B	神奈川・山梨・東京	193	0	5,319	92
330-C	埼玉	104	0	2,800	26
330	計	499	0	13,290	140
331-A	北海道（道央）	77	0	2,774	35
331-B	北海道（道北・道東）	93	0	2,775	19
331-C	北海道（道南）	60	0	1,952	2
331	計	230	0	7,501	56
332-A	青森	68	0	1,970	-5
332-B	岩手	55	0	1,760	33
332-C	宮城	82	0	1,570	13
332-D	福島	77	0	2,114	15
332-E	山形	58	0	1,922	-8
332-F	秋田	52	0	1,328	-8
332	計	392	0	10,664	40
333-A	新潟	80	0	3,050	33
333-B	栃木	57	0	1,442	14
333-C	千葉	135	0	3,606	3
333-D	群馬	56	0	2,074	27
333-E	茨城	81	0	3,045	-13
333	計	409	0	13,217	64
334-A	愛知	119	0	5,805	39
334-B	岐阜・三重	87	0	3,955	54
334-C	静岡	84	0	3,389	21
334-D	富山・石川・福井	101	0	4,315	48
334-E	長野	53	0	2,220	24
334	計	444	0	19,684	186
335-A	兵庫（東）	109	0	2,917	21
335-B	大阪・和歌山	204	-1	6,761	76
335-C	滋賀・京都・奈良	122	0	4,415	49
335-D	兵庫（西）	66	0	2,141	2
335	計	501	-1	16,234	148
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	0	6,194	15
336-B	鳥取・岡山	99	0	3,566	26
336-C	広島	104	-1	3,933	26
336-D	島根・山口	105	0	3,505	9
336	計	464	-1	17,198	76
337-A	福岡・長崎	118	0	4,817	80
337-B	大分・宮崎	82	0	2,588	3
337-C	佐賀・長崎	84	0	3,128	12
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	144	0	4,369	-2
337	計	428	0	14,902	93
総計		3,367	-2	112,690	803
世界のライオンズの		7.5%		8.6%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2008.8.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	202
世界のクラブ数	45,100
世界の会員数	1,305,386
期首からの増減	-268

国	クラブ数	会員数
アメリカ	12,824	378,990
インド	5,164	158,528
日本	3,384	112,719
韓国	1,990	83,322
イタリア	1,311	50,215

ライオン誌11月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費76円
2008年(平成20年)10月20日発行　毎月1回20日発行　第51巻第5号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　Tel 03-3542-9571
印刷所　凸版印刷株式会社